

2023 年度

教職課程履修の手引き

千葉工業大学

Part 1

はじめに

	ページ
[1] 本学で取得できる教育職員免許状の種類	3
[2] 免許状取得資格及び必要単位	5
[3] 「教職に関する科目」と修得単位、履修資格	8
[4] 「教科に関する科目」と修得単位	10
[5] 教育実習を実施するための条件	11
[6] 教育職員免許状取得までのスケジュールと諸手続き	12

《巻末資料》

Part 2

[1] 教科に関する科目	19
[2] 数学教職課程履修の手引き	28
[3] 理科教職課程履修の手引き	34
[4] 各学科の教職科目	43
[5] 時間割について	58
[6] 本学教職課程履修に関する問合せ先一覧	62

Part 3

大学院の教職課程	66
----------	----

Part 4

資料編	71
-----	----

※「教職課程履修の手引き」に記載のある以下の文言は履修上の便宜のため、教育職員免許法及び同施行規則、学生便覧の表記と異なりますので、ご注意ください。

教職課程履修の手引きの記載 免許法及び同施行規則・学生便覧の記載

「教職に関する科目」 ⇒ 「教育の基礎的理解に関する科目等」 + 「各教科の指導法」

「教科に関する科目」 ⇒ 「教科に関する専門的事項」

Part 1

Part 1

はじめに

	ページ
[1] 本学で取得できる教育職員免許状の種類	3
[2] 免許状取得資格及び必要単位	5
[3] 「教職に関する科目」と修得単位、履修資格	8
[4] 「教科に関する科目」と修得単位	10
[5] 教育実習を実施するための条件	11
[6] 教育職員免許状取得までのスケジュールと諸手続き	12

《巻末資料》

はじめに

教員になるためには教育職員免許状が必要です。この免許状があつてはじめて教員採用試験を受けることができ、そしてそれに合格すれば教員として採用されるのです。

この教育職員免許状を取得するには、大学卒業に必要な単位に加えて、さらに教育職員免許法に定められた「教科及び教職に関する科目」の単位を修得しなければなりません。これらの科目を履修し単位を修得するための課程が教職課程です。本学には、この教職課程が設けられています。教職課程を履修できるのは、将来教職に就く意志がある者です。

この冊子では、教職課程での履修手続きや単位の修得のしかた等について説明します。

[1] 本学で取得できる教育職員免許状の種類

教職課程が設けられているからといって、どの教科についても、どんな学校でも教えられる免許状が取得できるわけではありません。**高等学校教諭一種免許状**では、中学校の教壇に立つことはできません。**中学校教諭一種免許状**では、高等学校の教壇に立つことはできません。

学科によって、取得できる免許状は決まっていますので、所属する学科で取得できる免許状を表-1で確認しましょう。所属する学科以外の学科に表記されている免許状は取得できません。工学部の応用化学科のように、高等学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状いずれも表記されている場合は、両方の免許状を取得することで、高等学校でも中学校でも教壇に立つことができます。

工学部情報通信システム工学科、創造工学部建築学科、デザイン科学科、先進工学部の全学科、社会システム科学部金融・経営リスク科学科は教職課程を設置していません。これらの学科では教育職員免許状を取得することはできません。

本学で取得可能な免許状として、一種免許状の他に**専修免許状**があります。大学院に進学して修士の学位を取り、大学院の課程で新たに「大学が独自に設定する科目」を24単位以上修得することで、専修免許状を取得できます。「大学が独自に設定する科目」とは、大学院要覧の教育課程表の教職関係欄に「工」「数」「理」と表示された科目です。本手引き Part1 及び Part2 では、一種免許状のための教職課程の履修について説明します。専修免許状については本手引きの Part3 を参照してください。

(表-1) 各学部・学科で取得できる教育職員免許状の種類一覧

学 部	学 科	免許状の種類	
		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
工学部	機械工学科		工 業
	機械電子創成工学科		工 業
	先端材料工学科		工 業
	電気電子工学科		工 業
	応用化学科	理 科	理 科
創造工学部	都市環境工学科		工 業
情報科学部	情報工学科	数 学	数 学 情 報
	情報ネットワーク学科	数 学	数 学 情 報
社会システム科学部	経営情報科学科	数 学	数 学 工 業 商 業
	プロジェクトマネジメント学科	数 学	数 学 情 報

[2] 免許状取得資格及び必要単位

教育職員免許法に定められている、免許状取得の基礎資格、大学における最低修得単位数は、つぎの1)、2)、3)のとおりです。

1) 基礎資格

学部を卒業することによって得られます。

2) 「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」

「教科に関する科目」および「教職に関する科目」の単位を修得することによって得られます。(表—2を参照)

(表—2) 教育職員免許法に定められた基礎資格と大学における最低修得単位数

免許状の種類	所要資格 基礎資格	教科及び教職に関する科目		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭 一種免許状	学士の学位を有すること	数学 28	27	4
		理科 28	27	4
高等学校教諭 一種免許状	学士の学位を有すること	数学 24	23	12
		理科 24	23	12
		情報 24	23	12
		工業 24	23	12
		商業 24	23	12

※ただし、本学での免許状取得に必要な単位数は別に定めています。

3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(以下の(1)~(4)および表—3を参照)

(1) 日本国憲法 2単位

教養科目「憲法と社会」2単位を修得することによって得られます。

(2) 体育 2単位

教養科目「スポーツ科学」2単位を修得することによって得られます。

(3) 外国語コミュニケーション 2単位

教養科目「コミュニケーションスキル」分野の指定された科目から2単位を修得することによって得られます。

(4) 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位

教養科目「情報処理」などから2単位修得することによって得られます。

(表一3) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目名と本学の科目名の関係

		教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目名及び単位数			
		日本国憲法 (2 単位)	体 育 (2 単位)	外国語コミュニケーション (2 単位)	※数理又は情報機器 (2 単位)
本学の学部・学科名		本学の科目名			
工 学 部	機械工学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
				英語理解発展 1	
				英語表現発展 1	
	機械電子創成工学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
				英語理解発展 1	
				英語表現発展 1	
	先端材料工学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
				英語理解発展 1	
				英語表現発展 1	
	電気電子工学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
英 語 理 解 1					
英 語 表 現 1					
英語理解発展 1					
英語表現発展 1					
応用化学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理	
			英語表現基礎 1		
			英 語 理 解 1		
			英 語 表 現 1		
			英語理解発展 1		
			英語表現発展 1		
創 造 工 学 部	都市環境工学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
				英語理解発展 1	
				英語表現発展 1	

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

		教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目名及び単位数			
		日本国憲法 (2 単位)	体 育 (2 単位)	外国語コミュニケーション (2 単位)	※数理又は情報機器 (2 単位)
本学の学部・学科名		本学の科目名			
情報科学部	情報工学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
				英語理解発展 1	
	英語表現発展 1				
	情報ネットワーク学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報リテラシ演習
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
英語理解発展 1					
英語表現発展 1					
社会システム科学部	経営情報科学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
				英語理解発展 1	
	英語表現発展 1				
	プロジェクト マネジメント学科	憲法と社会	スポーツ科学	英語理解基礎 1	情報処理
				英語表現基礎 1	
				英 語 理 解 1	
				英 語 表 現 1	
英語理解発展 1					
英語表現発展 1					

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

[3] 「教職に関する科目」と修得単位、履修資格

「教職に関する科目」について、科目名と単位数、必修・選択の別、そして履修資格を総括したのが表-4です。

注)「教職に関する科目」は表-4に、「教科に関する科目」はPart2の表2-1-2から表2-1-10にそれぞれ記載されています。履修上の便宜のため、この分類は法律および学生便覧中の表記と異なります。

【注意事項】

● 単位の性格

「教職に関する科目」の単位は卒業に必要な単位には含まれません。
また、CAPからは除外されます。

● 教育実習に関わる単位について

「教育実習 A」：中学校の免許状のみ希望する者、または中学校と高等学校の両方の免許状を希望する者が受講します。

「教育実習 B」：高等学校の免許状のみを希望する者が受講します。なお、工業については「教育実習 B」の受講は必修ではなく選択です。

「教育実習 A」か「教育実習 B」のいずれかの単位を修得することで教育実習の単位は修得したとみなされます。

「教育実習事前事後指導」：教育実習の受講者は合わせて「教育実習事前事後指導」を履修・修得する必要があります。履修登録は4年次ですが、実際の事前指導は3年次に始まるので掲示に注意してください。

ただし、理科の免許状取得希望者の履修登録は3年次です。実際の指導も3年次に始まります。

● 介護等体験と介護体験入門について

小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成10年4月1日から施行）により、中学校の免許状を取得しようとする場合、介護等体験7日間（社会福祉施設5日、特別支援学校2日）が必要です。

本学では、「介護体験入門」*を受講し単位を修得した者でなければ、介護等体験（実習）に参加できません。また、介護等体験（実習）を実施し、その証明書（実習先が発行）がなければ、中学校の免許状授与申請もできません。

※「介護体験入門」 1単位（中学校免許状のみ）「大学が独自に設定する科目」
この科目は春期集中講義として開講されるので、履修登録時に必ず手続きをしてください。実際の講義は後期の授業期間内にも行いますので、掲示に注意してください。

(表-4)「教職に関する科目」の単位、履修資格

表の免許状の取得を希望する学校種・教科の列を見てください。

○は必修、△は選択を表します。

科目名	単 位	中 数	高 数	中 理	高 理	高 工	高 商	高 情	履修資格
教職概論	2	○	○	○	○	○	○	○	1年次以上
教育原理	2	○	○	○	○	○	○	○	1年次以上
教育行政学	2	○	○	○	○	○	○	○	1年次以上
教育と社会	2	△	△	△	△	△	△	△	2年次以上
教育心理学	2	○	○	○	○	○	○	○	2年次以上
特別支援教育論	1	○	○	○	○	○	○	○	2年次以上
教育課程論	2	○	○	○	○	○	○	○	2年次以上
介護体験入門	1	○		○					2年次以上
理科教育法 1	2			○	○				2年次以上
理科教育法 2	2			○	○				2年次以上
理科教育法 3	2			○	△				3年次以上
理科教育法 4	2			○	△				3年次以上
数学科教育法 1	2	○	○						2年次以上
数学科教育法 2	2	○	○						2年次以上
数学科教育法 3	2	○	△						3年次以上
数学科教育法 4	2	○	△						3年次以上
情報科教育法 1	2							○	2年次以上
情報科教育法 2	2							○	2年次以上
工業科教育法 1	2					○			2年次以上
工業科教育法 2	2					○			2年次以上
商業科教育法 1	2						○		2年次以上
商業科教育法 2	2						○		2年次以上
道德教育の理論と実践	2	○		○					3年次以上
総合的な学習の時間の理論と実践	2	○	○	○	○	○	○	○	3年次以上
特別活動論	2	○	○	○	○	○	○	○	3年次以上
教育の方法・技術と ICT	2	○	○	○	○	○	○	○	3年次以上
生徒指導・進路指導論	2	○	○	○	○	○	○	○	3年次以上
教育相談	2	○	○	○	○	○	○	○	3年次以上
教育実習事前事後指導	1	○	○	○	○	△	○	○	4年次 (理科のみ3年次以上)
教育実習 A	4	○	※	○	※				4年次
教育実習 B	2		※		※	△	○	○	4年次
教職実践演習	2	○	○	○	○	○	○	○	4年次

※中学校免許状と高等学校免許状をあわせて取得の場合には教育実習 A、高等学校免許状のみ取得の場合には教育実習 B が必修となります。

[4] 「教科に関する科目」と修得単位

教科に関する科目は、各自が所属する学科の学科科目のなかで、教職課程に関係する科目として認められている科目です。具体的には、各学科の教育課程表の「教職関係欄」に「数」「理」「工」「情」「商」と表示してある科目がそれにあたります。

【注意事項】

● 数学の場合

数学については Part2 [2] 数学教職課程履修の手引きを参照してください。

● 理科の場合

理科については Part2 [3] 理科教職課程履修の手引きを参照してください。

● 工業の場合

工業の免許状を取得する場合には、「職業指導 1」2 単位を修得していなければなりません。

● 情報の場合

情報の免許状を取得する場合には、「情報と職業」2 単位を修得していなければなりません。

情報科学部では、情報のみの免許状取得は推奨しません。数学の免許状を併せて取得できるように履修計画を立ててください。

● 商業の場合

商業の免許状を取得する場合には、「職業指導 2」2 単位を修得していなければなりません。

[5] 教育実習を実施するための条件

教務委員会教職課程運営部会では、4年次における教育実習を実施するための条件を設定しています。教育実習をする学生は、実習で担当する教科ごとの条件をよく理解して条件を満たすよう十分注意してください。

(これらの条件は免許取得希望教科ではなく、実習をする教科に対するものです。)

● 「教職に関する科目」

- ① 「教職に関する科目」を3年次後期終了時までには14単位以上修得していること。
- ② 「教職概論」(1年次前期)の2単位を修得していること。
- ③ 「教育原理」「教育行政学」(ともに1年次後期)「教育心理学」(2年次後期)の中から4単位以上を修得していること。
- ④ 該当する教科の「教育法1」「教育法2」から2単位以上を修得していること。
- ⑤ 教育実習の事前指導(各教科共通および各教科に関わるもの)に出席し合格すること。

● 数学

数学で教育実習を実施するためには、3年次後期終了時までには修得しなければならない単位の条件が、学科ごとに定められています。詳しくは、

情報工学科・情報ネットワーク学科はp.28～p.30

経営情報科学科・プロジェクトマネジメント学科はp.31～p.33

を参照して下さい。

● 理科

理科で教育実習を実施する学生は、「理科教育法1」の単位を修得し、3年次7月から3月にかけて実施される事前指導及び模擬授業・模擬実験指導に必ず出席し、合格すること。

● 工業

工業高等学校出身者以外の者で、工業で教育実習を希望する学生に限っては、大学から工業高校を紹介して実習を行えるようにしています。

ただし、受入の枠はあまりありませんので、教職担当教員が学生と面談し実習校を紹介しています。

● 商業

商業高等学校出身者以外の者で、商業で教育実習を希望する学生に限っては、大学から商業高校あるいは商業科を紹介して実習を行えるようにしています。

ただし、受入の枠はあまりありませんので、教職担当教員が学生と面談し実習校を紹介しています。

[6]教育職員免許状取得までのスケジュールと諸手続き

教職課程履修中は、修得すべき単位のほか、出席すべき説明会や指導、様々な事務上の手続きがあります。ここではその大まかなスケジュールを示します。スケジュールの中で、各自で行うものは「各自」と表記しました。また、介護等体験に関わるスケジュール、教育実習に関わるスケジュールは該当欄に○印をつけました。

なお、諸手続きの詳しい内容や日時については、その都度、教職課程の掲示板及びポータルにてお知らせします。くれぐれも見落とすことのないよう、また見間違いのないように注意してください。

学年	時期	教職課程スケジュール	介護等体験受講者 (中免許)	教育実習受講者 (理科)	教育実習受講者 (教・工・商・情)
1 年 次	4月	教職課程ガイダンス 各自教職課程受講申請手続き 各自教職科目履修登録 (1S・2S)			
	9月	各自教職科目履修訂正 (2S)			
2 年 次	4月	各自教職科目履修登録 (3S・4S)			
	9月	介護体験入門授業ガイダンス 各自教職科目履修訂正 (4S)	○		
	1月	教育実習説明会 (実習校への打診について) ※1 各自実習校へ打診		○ ○	○ ○
3 年 次	4月	介護等体験ガイダンス・事前指導 各自教職科目履修登録 (5S・6S)	○		
	6月	介護等体験実施時期・施設の決定	○		
	6～11月	各自介護等体験実施	○		
	9月	各自教職科目履修訂正 (6S)			
	随時	各自実習校決定 各自教育実習申請カード提出		○ ○	○ ○
	10月	教育実習事前指導 (教育実習報告会参加) 介護等体験中間報告会への参加	○	○	○
4 年 次	2～3月	教育実習事前指導 (理科模擬授業実施)		○	
	4～5月	教育実習ガイダンス※2 教育実習事前指導 (実習の注意点等) 教育実習事前指導 (教・工・商・情模擬授業実施) 各自教員採用試験受験書類提出 各自教職科目履修登録 (7S・8S)		○ ○	○ ○
	5～11月	各自教育実習実施※3		○	○
	7月	教育実習事後指導 (実習体験交流会) 各自教員採用試験受験 (一次試験) ※4		○	○
	8～10月	各自教員採用試験受験 (二次試験)			
	9月	各自教職科目履修訂正 (8S)			
	10月	教育実習事後指導 (教育実習報告会) 各自免許状授与申請希望者調査書提出		○	○
	12月	免許状一括申請説明会※5 ※6			
	3月	免許状授与 (学位記授与式当日)			

※1 出身校への実習依頼とその後の手続き

本学では実習は実習希望者の出身校にお願いすることを原則としています。実習の1年程前に各自が実習希望の旨を出身校へ伝え、出身校から内諾が得られたら書類（教育実習申請カード（資料-3））を教学センターへ速やかに提出し、大学から正式に依頼して決定します。

実習校によっては各都道府県の教育委員会宛に指定された書類等の提出を求められる場合もあります。その場合は速やかに担当教員又は教学センターに相談し指示を受けてください。

※2 実習前手続き

ガイダンス後、遅くとも5月上旬までに、次の4つの書類（教育実習生調査表（資料-4）、誓約書（資料-5）、教育実習期間証明書（資料-6）、健康診断証明書（本学の健康診断を必ず受けておくこと））を提出する必要があります。

また、ガイダンス時に『教育実習録』を配付します。実習録には、実習期間中記録します。実習校から返却されたあと教学センターへ提出し、実習担当教員が目を通したあと返却します。

※3 免許状の種類と実習期間

中学校免許状のみ、または中学校・高等学校の免許状を取得しようとする場合は、**3～4週間**の実習を行います。高等学校の免許状のみを取得しようとする場合は、**2週間以上**の実習を行います。

※4 教員採用試験

教員採用試験は公立学校と私立学校では異なります。

(1) 公立学校の教員採用

公立学校教員の採用試験の日程と内容は、都道府県によって異なります。各都道府県の試験の日程と実施概要は4月中にそれぞれから公表されます。受験希望者は各自で、各都道府県所定の志願書を取り寄せて申し込まなければなりません。その際の問い合わせ先は資料の「公立学校教員採用試験問い合わせ先一覧」（資料-12）を参考にしてください。

なお申し込み時に、在学学生は、「教職免許状取得見込証明書」が必要になりますので、教学センターに証明書の発行を願い出てください。

採用試験には一次試験と二次試験があり筆記試験、面接試験、実技試験などが含まれます。実施項目は都道府県によって異なります。

2023年以降、関東地方を含む全国各地の都道府県・政令市の公立学校教員採用試験は、一次試験の時期を早めて実施する（3年次後期に実施）ことが予定・予想されています。最新情報に注意してください。

(2) 私立学校の教員採用

私立学校教員の採用は次の3つの形態があります。

- ① 私立学校教員適性検査を実施して名簿に登録し、各学校法人がそのリストの中から選び面接採用します。東京、愛知、静岡、広島など。なお「都道府県私学協会一覧」（資料-13）を参照してください。
- ② 各学校が単独で採用試験や面接を行い採用します。
- ③ 本学の先輩教員や縁故関係などから求人依頼があり条件に見合えば採用されます。その際は学科や教学センターと打ち合わせて連絡します。

※5 教育職員免許状授与申請及び交付

教育職員免許状は単位を充足しただけで自動的に授与されるものではありません。免許状の授与申請書を教育委員会へ申請して初めて授与されるものです。

免許状授与申請の手続きには、**一括申請**と**個人申請**の2種類があります。

(1) 一括申請

大学を卒業すると同時に免許状の授与を受けるもので、大学を通じて千葉県教育委員会へ免許状の申請手続きを行うことです。免許状は千葉県教育委員会から交付され、本学の学位記授与式当日、免許状の取得者へ授与します。

本学では、4年生で卒業見込みがあり、かつ免許状の授与に必要な所定単位の取得見込みがある学生に対し9月頃、一括申請の手続きについて、掲示等で通知します。

免許状の授与を希望する学生は、指定された期日までに所定の用紙に誤りのないよう記入し諸手続き（手数料は本人負担）を行います。ただし、単位取得見込みのない学生、又は一括申請を希望しない学生は、手続きをする必要はありません。

(2) 個人申請

卒業後に申請者本人が居住する各都道府県教育委員会に直接免許状授与申請の手続きをすることです。各都道府県教育委員会により、申請期間、申請書類等が異なりますので、事前に教育委員会へ確認して手続きしてください。

一括申請に必要な単位数が充足されていない場合でも、単位の取得状況によっては個人申請ができる場合もあります。

※6 大学卒業時までには免許状を取得できなかった場合の「教職科目履修生」制度

卒業後、教職課程を開設している大学あるいは機関において、科目等履修生または教職科目履修生等となって必要な単位を修得し、各都道府県の教育委員会に免許状を申請すれば取得することができます。本学でも**教職科目履修生**の制度をおいています。以下で本学の教職科目履修生について説明します。

教職科目履修生は通常の在学ではなく、教職課程で必要な単位の修得だけを目的として在学する制度です。

教職科目履修生を志願する者は、教学センターに必要な書類を提出し、審査を受け、許可されれば、本学で必要な科目を履修し単位を修得することができます。詳細は「科目等履修生出願要項」（教学センターに請求）を参照してください。

なお、この教職科目履修生として認められるためには次の条件を満たしていなければなりません。

(1) 本学を卒業した者

- a. 教育職員免許状の取得を目的とする者

(2) 他大学を卒業した者

- a. 他大学において教職課程を履修した者
- b. 教育職員免許状の取得を目的とする者
- c. あと僅かの単位で教育職員免許状の申請ができる者

ただし(2)の場合は、実験・実習科目および教職実践演習の履修はできません。

《巻末資料》

❖ 教育職員免許法に定められている、免許状取得の基礎資格、大学における最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	28	27	4
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	24	23	12

❖ 欠格事項

教職課程で必要な単位を修得しても教員免許状を授与されない場合があります。それは「欠格者」とみなされた場合です。みなさんに身近な欠格事項のみを次にあげておきます。

- 1 禁固以上の刑に処せられた者
- 2 教育職員免許法第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 3 同法第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 4 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

* 道路交通法違反による交通事故で禁固以上の刑に処せられる例もありますので承知しておいてください。

MEMO

Part 2

Part 2

[1]	教科に関する科目	19
[2]	数学教職課程履修の手引き	28
[3]	理科教職課程履修の手引き	34
[4]	各学科の教職科目	43
[5]	時間割について	58
[6]	本学教職課程履修に関する問合せ先一覧	62

[1] 教科に関する科目

教育職員免許法に定められた「教科及び教科の指導法に関する科目」に必要な最低修得単位数を、表 2-1-1 に示します。また履修の便宜を考えて、この手引きでは、表 2-1-1 のうちすでに Part1 の「教職に関する科目」の分類（Part 1 表-4）に記載している各教科の指導法に関する科目を除いた「工業」、「理科」、「数学」、「情報」、「商業」、それぞれの教科の免許取得のため、本学において開講されている科目を「教科に関する科目」として、表 2-1-2 から表 2-1-10 に示しました。

表2-1-1 教育職員免許法に定められた「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数

教科	施行規則の科目 教科に関する専門的事項	一種免許状 修得単位数	
		中学校教諭	高等学校教諭
数 学	代数学	1 単位以上	1 単位以上
	幾何学	1 単位以上	1 単位以上
	解析学	1 単位以上	1 単位以上
	「確率論, 統計学」	1 単位以上	1 単位以上
学	コンピュータ	1 単位以上	1 単位以上
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8単位以上	4単位以上
	計	28単位以上	24単位以上
理 科	物理学	1 単位以上	1 単位以上
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	1 単位以上	
	化学	1 単位以上	1 単位以上
	化学実験 (コンピュータ活用を含む)	1 単位以上	
	生物学	1 単位以上	1 単位以上
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	1 単位以上	
	地学	1 単位以上	1 単位以上
	地学実験 (コンピュータ活用を含む)	1 単位以上	
	「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) 化学実験 (コンピュータ活用を含む。) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」		1 単位以上
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	8単位以上	4単位以上
計	28単位以上	24単位以上	
情 報	情報社会及び情報倫理	/	1 単位以上
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)		1 単位以上
	情報システム (実習を含む)		1 単位以上
	情報通信ネットワーク (実習を含む)		1 単位以上
	マルチメディア表現及びマルチメディア技術 (実習を含む)		1 単位以上
	情報と職業		1 単位以上
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4単位以上
計	24単位以上		
工 業	工業の関係科目	/	1 単位以上
	職業指導		1 単位以上
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4単位以上
	計		24単位以上
商 業	商業の関係科目	/	1 単位以上
	職業指導		1 単位以上
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		4単位以上
	計		24単位以上

<工学部>

表2-1-2 「工業」の「教科に関する科目」

教科名	教育職員免許法施行規則に定める科目名	本学において開講している科目名と単位数						
		機械工学科	機械電子創成工学科	先端材料工学科	電気電子工学科			
工業 関係科目	工業数学	②	デジタルものづくり	2	基礎材料工学	②	電気磁気学及び演習1	②
	工業力学	②	機構学	2	材料物理学	②	電気磁気学及び演習2	②
	基礎材料力学	②	力学	②	エネルギー工学概論	②	電気回路及び演習1	②
	基礎機械設計	②	電気磁気学	②	材料組織学	②	電気回路及び演習2	②
	基礎機械製図	②	材料力学	②	固体物理学	②	電子デバイス及び演習1	②
	基礎機械力学	②	電気回路	②	材料熱化学	②	電子回路及び演習1	②
	生産加工学	②	機械電子創成基礎実験・実習	②	材料電気化学	②	電子物性	②
	材料力学	②	機械設計製図学	②	材料力学及び演習	②	電気電子工学実験1	②
	機械力学	2	機械加工法	2	構造材料1	②	電気電子工学実験2	②
	熱力学	②	材料とその性質	②	技術者倫理	②	電気電子工学実験3	②
	応用熱力学	2	アナログ回路	②	塑性加工学	2	計測工学	2
	流れ学	②	デジタル回路	②	表面工学	2	電気回路解析学	2
	応用流れ学	2	プログラミング言語	②	材料化学プロセス工学1	2	電子デバイス2	2
	機械設計	②	機械電子創成基盤実験・実習	②	融体成形工学	2	電気音響工学	2
	機械製図	②	組込みシステム	2	粉体材料工学	2	プラズマエレクトロニクス	2
	CAD演習	②	システム制御理論	②	材料強度学1	2	電磁エネルギー変換工学	2
	応用機械設計製図	②	電気機器学	2	構造材料2	2	パワーエレクトロニクス	2
	工作機械	2	ネットワークプログラミング	2	半導体材料	2	発電工学	2
	機械工学実験1	②	システム制御工学	②	磁性材料	2	高電圧工学	2
	機械工学実験2	②	計測工学	②	リサイクル工学	2	電気電子材料	2
工学概論	②	工学概論	②	工学概論	②	工学概論	②	
職業指導	職業指導1	②	職業指導1	②	職業指導1	②	職業指導1	②
合計		44		44		44		44

(注意) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。
2. 工学概論、職業指導1 は、進級・卒業の要件に算入されない。

〈工学部〉

表2-1-3 「理科」の「教科に関する科目」

教科名	本学において開講している科目名と単位数					
	応用化学科					
	教育職員免許法施行規則に定める科目名	中学校	教育職員免許法施行規則に定める科目名	高等学校		
理科	物理学	物理学基礎 ② 物理学応用 ② 統計力学基礎 2 電磁気学 ②	物理学	物理学基礎 ② 物理学応用 ② 統計力学基礎 2 電磁気学 ②		
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	物理学実験 ②	化学	化学基礎 ② 有機化学1 ② 化学応用 ② 有機化学2 2 物理化学1 ② 有機化学3 2 無機化学1 ② 物理化学2 2 分析化学 ② 物理化学3 2 量子化学1 2 高分子化学 2 量子化学2 2 無機合成化学 2 界面化学 2 電気化学 ② 触媒化学 2 錯体化学 2		
	化学	化学基礎 ② 有機化学1 ② 化学応用 ② 有機化学2 2 物理化学1 ② 有機化学3 2 無機化学1 ② 物理化学2 2 分析化学 ② 物理化学3 2 量子化学1 2 高分子化学 2 量子化学2 2 無機合成化学 2 界面化学 2 電気化学 ② 触媒化学 2 錯体化学 2		生物学基礎 ② 生化学 2 生命科学 ②		
	化学実験 (コンピュータ活用を含む)	化学実験 ②		生物学	生物学基礎 ② 生化学 2 生命科学 ②	
	生物学	生物学基礎 ② 生化学 2 生命科学 ②		地学	地球科学 ② 地球環境科学 ② 宇宙科学 2	
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	生物学実験 ①		物理学実験 (コンピュータ活用を含む) 化学実験 (コンピュータ活用を含む) 生物学実験 (コンピュータ活用を含む) 地学実験 (コンピュータ活用を含む)	物理学実験 ②	
	地学	地球科学 ② 地球環境科学 ② 宇宙科学 2			化学実験 ②	
	地学実験 (コンピュータ活用を含む)	地学実験 ①			生物学実験 ①	
	計	6 2			地学実験 ①	6 2

(注意) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。

2. 電磁気学、生物学実験、宇宙科学、地学実験は、進級・卒業の要件に算入されない。

〈情報科学部〉

表2-1-5 「数学」の「教科に関する科目」

教科名	教育職員免許法 施行規則に定め る科目	本学において開講している科目と単位数			
		情報工学科		情報ネットワーク学科	
数 学	代 数 学	線形代数特論	②	線形代数基礎	②
		線形代数基礎	②	線形代数応用	2
		線形代数応用	2	現代代数	2
		離散数学	2	代数学1	②
		初等整数論	②	代数学2	②
				情報数学基礎	2
	幾 何 学	幾何学1	②	幾何学1	②
		幾何学2	②	幾何学2	②
		グラフィックス	2	コンピュータグラフィックス	2
	解 析 学	解析学1	②	解析学1	②
解析学2		②	解析学2	②	
数学基礎		②	数学基礎	②	
微分積分		2	微分積分	2	
微分方程式		2	微分方程式	2	
応用解析		2	応用解析	2	
「確率論， 統計学」	確率統計	②	確率統計	②	
	統計解析	2	統計解析	2	
コ ン ピ ュ ー タ	プログラミング演習1	②	Webプログラミング演習	②	
	プログラミング演習2	②	ネットワークプログラミング演習	2	
	情報理論	2	ネットワークプログラミング応用演習	2	
			情報理論	2	
計		40		46	

(注意) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。

2. 幾何学1・2、解析学1・2は進級・卒業の要件に算入されない。

〈情報科学部〉

表2-1-6 「情報」の「教科に関する科目」

教科名	教育職員免許法施行規則に定める科目	本学において開講している科目と単位数			
		情報工学科		情報ネットワーク学科	
情報	情報社会及び情報倫理	情報工学概論	②	情報社会とビジネス	②
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む)	計算機工学	②	ICT基礎 ソフトウェア開発論 アルゴリズム 情報メディア基礎 デジタル回路	②
		ソフトウェア工学	②		②
		アルゴリズム	②		②
		エレクトロニクス	2		②
		論理回路	2		②
		オペレーティングシステム	2		②
		情報工学実験1	③		△ ₂
		情報工学実験2	③		△ ₂
	情報システム(実習を含む)	情報工学実験3	②	データベース OSとシステムソフトウェア 知識工学 分散処理	2 2 2 2
プログラミング言語		2			
データベース		②			
システムソフトウェア		2			
人工知能		2			
情報	情報通信ネットワーク(実習を含む)	計算機ネットワーク デジタル通信	② 2	コンピュータネットワーク基礎	②
				情報ネットワーク入門	△ ₂
				情報ネットワーク概論	△ ₂
				デジタル通信	2
				LAN	2
				情報ネットワークと企業戦略	2
				ネットワーク応用	2
				Webシステム基礎実験	△ ₂
Webアプリケーション構築実験	△ ₂				
マルチメディア表現及び技術(実習を含む)	画像処理 デジタル信号処理 音響工学	② 2 2	コンピュータビジョン	②	
			デジタル信号処理	2	
			音響科学	2	
			オーディオコンテンツ	2	
情報と職業	情報と職業	②	情報と職業	②	
計		50		48	

- (注意) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。
 2. △の科目から、4単位以上修得すること。
 3. 情報と職業は進級・卒業の要件に算入されない。

〈社会システム科学部〉

表2-1-7 「数学」の「教科に関する科目」

教科名	教育職員法施行規則に定める科目名	本学において開講している科目名と単位数			
		経営情報科学科		プロジェクトマネジメント学科	
数学	代数学	代数学1	②	代数学1	②
		代数学2	②	代数学2	②
		線形代数入門	2	線形代数入門	2
		オペレーションズリサーチ入門	2	オペレーションズリサーチ入門	2
		離散数学	2	離散数学	2
		数理計画		数理計画	2
	幾何学	幾何学1	②	幾何学1	②
		幾何学2	②	幾何学2	②
	解析学	解析学1	②	解析学1	②
		解析学2	②	解析学2	②
		基礎数学および演習	④	基礎数学および演習	④
		微分方程式	2	微分方程式	2
	「確率論, 統計学」	データ解析入門	②	データ解析入門	②
		データマイニング入門	2	データマイニング入門	2
	コンピュータ	情報数学	2		
		モデリング手法概論	②	コンピュータサイエンス入門	②
		問題解決システム	2		
		合計単位数	34	合計単位数	32

1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。
2. 幾何学1・2、解析学1・2は卒業・進級の要件に算入されない。

<社会システム科学部>

表2-1-8 「工業」の「教科に関する科目」

教科名	教育職員免許法施行規則に定める科目名	本学において開講している科目名と単位数	
		経営情報科学科	
工業	工業の関係科目	情報リテラシ	△②
		情報処理基礎および演習	△④
		情報ネットワーク	2
		システム方法論	△②
		人間工学概論	△②
		生産システム工学	△②
		環境システム科学	△②
		生産管理	△②
		品質管理	△②
		環境リスクマネジメント	2
		環境マネジメントおよび演習	△②
		情報システム基礎	△②
		応用情報処理および演習	△④
		マルチメディア情報処理	2
		オペレーションズリサーチ応用	△②
		行動科学分析	2
		オブジェクト指向システム設計	2
工学概論	②		
職業指導	職業指導 1	②	
計		42	

- (注) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。
 2. △の科目から16単位以上修得すること。
 3. 工学概論、職業指導1は、進級・卒業の要件に算入されない。

表2-1-9 「商業」の「教科に関する科目」

教科名	教育職員免許法施行規則に定める科目名	本学において開講している科目名と単位数	
		経営情報科学科	
商業	商業の関係科目	社会システム科学入門	②
		知的財産権	△②
		企業と経営	△②
		ビジネスコミュニケーション	△②
		ベンチャービジネス論	2
		社会システムと意思決定	△②
		経営管理論	△②
		会計システムおよび演習	△④
		リスクマネジメント概論	△②
		原価管理および演習	△④
		組織学習	2
		企業の法的環境	△②
		技術経営	2
		マーケティングマネジメント	2
		経営情報システム	2
		流通情報システム論	2
		金融工学入門	△②
企業実習	2		
職業指導	職業指導 2	②	
計		42	

- (注) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。
 2. △の科目から16単位以上修得すること。
 3. 工学概論、職業指導2は、進級・卒業の要件に算入されない。

表2-1-10 「情報」の「教科に関する科目」

教科名	免許法施行規則に定める科目名	本学において開講している科目名と単位数	
		プロジェクトマネジメント学科	
情報	情報社会及び情報倫理	情報リテラシ	②
		情報技術社会論	2
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	プログラム言語とプログラミング	②
		情報処理基礎および演習	④
		プログラム言語応用	2
		データ構造入門	2
	情報システム(実習を含む。)	コミュニケーションマネジメント	2
		モデリングとシミュレーション	2
		ソフトウェア開発の定量化技法	2
		情報システム開発	②
ソフトウェア開発管理		②	
サイバーマニュファクチュアリング		2	
ユーザ要求とシステム設計		2	
ユーザビリティエンジニアリング	②		
情報	情報通信ネットワーク	ナレッジマネジメント	2
		情報とセキュリティ	2
	コンピュータネットワークとアプリケーション	②	
マルチメディア表現及びマルチメディア技術(実習を含む。)	マルチメディアシステム概論	②	
情報と職業	情報と職業	②	
計		40	

- (注) 1. ○は教員免許状取得のための必修科目である。
 2. 情報と職業は進級・卒業の要件に算入されない。

[2] 数学教職課程履修の手引き

[2] - 1. 情報工学科

(1) 教科に関する科目・教職に関する科目の履修について

本学において「数学」の免許状を取得しようとする場合、教科に関する科目・教職に関する科目それぞれについて、表 2-2-1 に示す単位を修得しなければなりません。さらに (2) ~ (5) の条件があります。

表 2-2-1 本学において「数学」の免許取得に必要な単位数

	教科に関する科目	教職に関する科目
中学校一種免許状	26 単位以上 (※)	39 単位以上 (※※)
高等学校一種免許状	30 単位以上 (※)	30 単位以上 (※※)

(※) 「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-5 (p.24) の必修科目と、解析学 1・2、幾何学 1・2 履修の前提科目「微分積分」「線形代数応用」((4) 参照) の単位を含む。

(※※) 中学校は「数学科教育法 1・2・3・4」、高等学校は「数学科教育法 1・2」の単位を含む。

(2) 教科に関する科目

教科に関する科目については、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-5 (p.24) において以下の条件を満たしていることが必要です。

1. 必修科目 22 単位全てを修得していること。
2. 表に記載された科目から、必修科目も含めて「中学校一種免許状」では 26 単位以上、「高等学校一種免許状」では 30 単位以上を修得していること。

なお、表にある科目のうち「幾何学 1・2」「解析学 1・2」は、教職課程を履修している者だけが履修できる科目であり、修得された単位は、卒業に必要な単位としては扱われないので、注意してください。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目の履修については、Part1 の表-4 (p.9) を参照してください。

(4) 「幾何学 1・2」「解析学 1・2」履修のための条件

「幾何学 1・2」「解析学 1・2」を履修するためには、数学の教職課程の科目に指定されている 1 年次開講科目のうち、「数学基礎」「線形代数基礎」「微分積分」「線形代数応用」の全ての単位を修得していることが必要です。

(5) 教育実習の実施条件

「数学」で教育実習を行うためには、次の条件をすべて満たしていることが必要です。

1. 4 年次 4 月から実施される教育実習事前事後指導を受けていること。
2. 6 S 終了時まで、「線形代数特論」「初等整数論」「幾何学 1・2」「解析学 1・2」「確率統計」「統計解析」「プログラミング演習 1・2」の 10 科目 20 単位の中から 8 単位以上を修得していること。
3. 6 S 終了時まで、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-5 (p.24) から 22 単位以上を修得していること。

なお、大学院生・教職科目履修生の場合は、上の 1. 2. の条件を満たしていることを条件とします。(3. は問わない。)

[2] - 2. 情報ネットワーク学科

(1) 教科に関する科目・教職に関する科目の履修について

本学において「数学」の免許状を取得しようとする場合、教科に関する科目・教職に関する科目それぞれについて、表 2-2-2 に示す単位を修得しなければなりません。さらに、(2)～(5)の条件があります。

表 2-2-2 本学において「数学」の免許取得に必要な単位数

	教科に関する科目	教職に関する科目
中学校一種免許状	24 単位以上 (※)	39 単位以上 (※※)
高等学校一種免許状	30 単位以上 (※)	30 単位以上 (※※)

(※) 「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-5 (p.24) の必修科目と、解析学 1・2、幾何学 1・2 履修の前提科目「微分積分」「線形代数応用」((4) 参照) の単位を含む。
(※※) 中学校は「数学科教育法 1・2・3・4」、高等学校は「数学科教育法 1・2」の単位を含む。

(2) 教科に関する科目

教科に関する科目については、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-5 (p.24) において以下の条件を満たしていることが必要です。

1. 必修科目 20 単位全てを修得していること。
2. 表に記載された科目から、必修科目も含めて「中学校一種免許状」では 24 単位以上、「高等学校一種免許状」では 30 単位以上を修得していること。

なお、表にある科目のうち「幾何学 1・2」「解析学 1・2」は教職課程を履修している者だけが履修できる科目であり、修得された単位は、卒業に必要な単位としては扱われないので、注意してください。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目の履修については、Part1 の表 4 (p.9) を参照してください。

(4) 「幾何学 1・2」「解析学 1・2」履修のための条件

「幾何学 1・2」「解析学 1・2」を履修するためには、数学の教職課程の科目に指定されている 1 年次開講科目のうち、「数学基礎」「線形代数基礎」「微分積分」「線形代数応用」の全ての単位を修得していることが必要です。

(5) 教育実習の実施条件

「数学」で教育実習を行うためには、次の条件をすべて満たしていることが必要です。

1. 4 年次 4 月から実施される教育実習事前事後指導を受けていること。
2. 6 S 終了時まで、「代数学 1・2」「幾何学 1・2」「解析学 1・2」「確率統計」「統計解析」「Web プログラミング演習」の 9 科目 18 単位の中から 8 単位以上を修得していること。
3. 6 S 終了時まで、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-5 (p.24) から 22 単位以上を修得していること。

なお、大学院生・教職科目履修生の場合は、上の 1. 2. の条件を満たしていることを条件とします。(3. は問わない。)

[2] - 3. 経営情報科学科

(1) 教科に関する科目・教職に関する科目の履修について

本学において「数学」の免許状を取得しようとする場合、教科に関する科目・教職に関する科目それぞれについて、表 2-2-3 に示す単位を修得しなければなりません。

さらに、(2)～(6)の条件があります。

表 2-2-3 本学において「数学」の免許取得に必要な単位数

	教科に関する科目	教職に関する科目
中学校一種免許状	22 単位以上 (※)	39 単位以上 (※※)
高等学校一種免許状	30 単位以上 (※)	30 単位以上 (※※)

(※) 「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-7 (p.26) の必修科目と、解析学 1・2、幾何学 1・2 履修の前提科目「線形代数入門」((4) 参照) の単位を含む。

(※※) 中学校は「数学科教育法 1・2・3・4」、高等学校は「数学科教育法 1・2」の単位を含む。

(2) 教科に関する科目

教科に関する科目については、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-7 (p.26) において以下の条件を満たしていることが必要です。

1. 必修科目 20 単位全てを修得していること。
2. 表に記載された科目から、必修科目も含めて「中学校一種免許状」では 22 単位以上、「高等学校一種免許状」では 30 単位以上を修得していること。

なお、表にある科目のうち「幾何学 1・2」「解析学 1・2」は教職課程を履修している者だけが履修できる科目であり、修得された単位は、卒業に必要な単位としては扱われないので、注意してください。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目の履修については Part1 の表 4 (p.9) を参照してください。

(4) 「幾何学 1・2」「解析学 1・2」履修のための条件

「幾何学 1・2」「解析学 1・2」を履修するためには、数学の教職課程の科目に指定されて

いる 1 年次開講科目（「基礎数学および演習」、「線形代数入門」）の単位を修得していることが必要です。

（5）教育実習の実施条件

「数学」で教育実習を行うためには、次の条件をすべて満たしていることが必要です。

1. 4 年次 4 月から実施される教育実習事前指導を受けていること。
2. 6 S 終了時まで、「代数学 1・2」「幾何学 1・2」「解析学 1・2」「データ解析入門」「モデリング手法概論」の 8 科目 16 単位の中から 8 単位以上を修得していること。
3. 6 S 終了時まで、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-7（p.26）から、22 単位以上を修得していること。

なお、大学院生・教職科目履修生の場合は、上の 1. 2. の条件を満たしていることを条件とします。（3. は問わない。）

【2】－4. プロジェクトマネジメント学科

（1）教科に関する科目・教職に関する科目の履修について

本学において「数学」の免許状を取得しようとする場合、教科に関する科目・教職に関する科目それぞれについて、表 2-2-4 に示す単位を修得しなければなりません。さらに（2）～（6）の条件があります。

表 2-2-4 本学において「数学」の免許取得に必要な単位数

	教科に関する科目	教職に関する科目
中学校一種免許状	22 単位以上（※）	39 単位以上（※※）
高等学校一種免許状	30 単位以上（※）	30 単位以上（※※）

（※）「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-7（p.26）の必修科目と、解析学 1・2、幾何学 1・2 履修の前提科目「線形代数入門」（（4）参照）の単位を含む。

（※※）中学校は「数学科教育法 1・2・3・4」、高等学校は「数学科教育法 1・2」の単位を含む。

(2) 教科に関する科目

教科に関する科目については、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-7 (p. 26) において以下の条件を満たしている必要があります。

1. 必修科目 20 単位全てを修得していること。
2. 表に記載された科目から、必修科目も含めて「中学校一種免許状」では 22 単位以上、「高等学校一種免許状」では 30 単位以上を修得していること。

なお、表にある科目のうち「幾何学 1・2」「解析学 1・2」は教職課程を履修している者だけが履修できる科目であり、修得した単位は卒業に必要な単位としては扱われないので注意してください。

(3) 教職に関する科目

教職に関する科目の履修については、Part1 の表-4 (p. 9) を参照してください。

(4) 「幾何学 1・2」「解析学 1・2」履修のための条件

「幾何学 1・2」「解析学 1・2」を履修するためには、数学の教職課程の科目に指定されている 1 年次開講科目（「基礎数学および演習」、「線形代数入門」）の単位を修得している必要があります。

(5) 教育実習の実施条件

「数学」で教育実習を行うためには、次の条件をすべて満たしている必要があります。

1. 4 年次 4 月から実施される教育実習事前指導を受けていること。
2. 6 S 終了時まで、「代数学 1・2」「幾何学 1・2」「解析学 1・2」「データ解析入門」「コンピュータサイエンス入門」の 8 科目 16 単位の中から 8 単位以上を修得していること。
3. 6 S 終了時まで、「数学」の「教科に関する科目」表 2-1-7 (p. 26) から 22 単位以上を修得していること。

なお、大学院生・教職科目履修生の場合は、上の 1. 2. の条件を満たしていることを条件とします。(3. は問わない。)

[3] 理科教職課程履修の手引き

(1) 教育職員免許状取得のために必要な単位数

本学において「理科」の免許状を取得しようとする場合、教科に関する科目・教職に関する科目のそれぞれについて、表 2-3-1 に示す単位を修得しなければなりません。また、免許の学校種・教科に関係なく教育職員免許状施行規則により、(4) に示す条件を満たさなければなりません。

表 2-3-1 本学において「理科」の免許取得に必要な単位数

	教科に関する科目 注1)	教職に関する科目 注1)
中学校一種免許状	34 単位以上	39 単位以上
高等学校一種免許状	38 単位以上	30 単位以上

注1)「教科に関する科目」は表 2-3-2 の記載された科目群、「教職に関する科目」は表 2-3-3 に記載された科目群を指します。履修上の便宜のため、この分類は法律および学生便覧中の表記と異なります。

(2) 教科に関する科目 (表 2-3-2 の科目群)

理科の教員免許状は工学部応用化学科のみ取得可能です。理科の教科に関する科目群は表 2-3-2 のとおりで、応用化学科で開講される専門科目を中心に構成され、免許状の学校種ごとに「必修科目」と「選択科目」があります。表 2-3-2 の第 2 欄は応用化学科の専門科目の科目区分で、網掛けの「教職専門」は、教職課程を履修している者だけが履修でき、修得した単位は応用化学科の卒業に必要な単位としては扱われません。

「必修科目」は、中学校一種免許状取得には 34 単位、高等学校一種免許状の取得には 38 単位の修得が必要です。

「選択科目」は、単位を取得できなくても免許の取得はできますが、中学理科・高等学校理科の分野を教授する上で必要な知識、発想力、思考力を獲得するために重要な科目群であり、すべて履修することが期待されています。

また、応用化学科の学生として専門的な知識、発想力、思考力を養うために必要な科目であり、修得した単位は卒業に必要な単位として扱われます。

(3) 教職に関する科目 (表 2-3-3 の科目群)

教員免許状を取得するには、教職に関する科目の単位を表 2-3-1 のとおり修得することが必要です。表 2-3-3 は本学の教職に関する科目群であり、教職課程を履修している者だけが履修でき、修得した単位は応用化学科の卒業に必要な単位として扱われませんので注意してください。

これらの科目の中には、教育実習前に単位を修得する必要がある科目 (理科教育法 1)

や、中学校の教員免許状取得に必要な介護等体験の前に単位を修得する必要がある科目（介護体験入門）、免許取得希望の学校種によって履修する科目名が異なる場合（教育実習Aと教育実習B）があります。自分が取得を希望する学校種を確認の上履修してください。

（４）教員免許取得のための基礎資格を満たすための科目

教員免許取得には、学士の学位を取得し、さらに基礎資格を満たすために表 2-3-1 とは別に表 2-3-4 に示す科目を 8 単位取得する必要があります。このうち 6 単位は、本学を卒業するため（学士の学位を取得するため）の必修科目です。教養科目である「憲法と社会」の履修については、（７）で説明する具体的な履修方法を熟読してください。

（５）教育実習の実施条件

「理科」で教育実習を行うためには、次の条件を全て満たす必要があります。

- (a) 4 年次に在籍していること。または、学士の学位を有していること（大学院生・科目履修生）。
- (b) 介護体験入門（中学校の免許取得の場合）および理科教育法 1 の単位を取得していること。
- (c) 3 年次 7 月から 3 月に実施される理科教育実習事前指導であるレポート指導・教案作成指導・模擬授業・実験安全指導の 4 項目全てに合格すること。
- (d) 4 年次 4 月から実施される教育実習関係のガイダンスおよび事前指導に出席すること。

（６）理科教育実習事前指導の概要

教育実習先の生徒ならびに教員に迷惑をかけることのないように、「理科」の教育実習生として必要最低限の教科内容に関する知識、発想力、思考力および教育技術、教員としての資質を備えていることを判定するための理科教育実習事前指導を 3 年次 7 月から 3 月に行います。

指導時期と主な指導内容は次のとおりです。

(a) レポート指導（7 月～9 月）

「理科」の教育実習生として必要最低限の教科内容に関する知識、発想力、思考力が備わっていること、および生徒の理解度に応じた理科の指導が出来ることを判定する。

(b) 教案作成指導（1 月～2 月）

学習指導要領に則して、適切な授業教材を用いた授業を計画することができること、適切な学習指導案を作成できること、ならびに授業の改善指導に対して遅滞なく確実に対応できることを判定する。

(c) 模擬授業・実験安全指導（3 月）

学習指導要領に則して自ら計画した学習指導案にそって、理科の知識や発想を生徒に教

授し、生徒と良好なコミュニケーションをとりながら、生徒の能力を伸ばし、教員としての自覚を持って授業が行えることを模擬授業で判定する。また、模擬授業に対して生徒役の学生や教職担当教員から適切なアドバイスを受け、より質の高い授業実践ができるようにする。

模擬授業の際に同時に行う実験安全指導により、理科実験を安全に実施するための知識と実験技術を確認する。

なお、指導時期および指導内容は年度によって異なる場合があるので、3年次の7月に実施される理科教育実習事前指導のガイダンスで詳細を確認してください。

表 2-3-2 「理科」の教科に関する科目群

開講学期		授業科目	中学		高校		中・高	
			必修	選択	必修	選択	必修	選択
1 S	専門基礎	物理学基礎	2		2		2	
	専門基礎	化学基礎	2		2		2	
	専門基幹	有機化学 1	2		2		2	
2 S	専門基礎	化学応用	2		2		2	
	専門基幹	物理化学 1	2		2		2	
	専門基幹	有機化学 2		2		2		2
1 S-2 S	専門基礎	物理学実験	2		2		2	
	専門基礎	化学実験	2		2		2	
3 S	専門基礎	物理学応用	2		2		2	
	専門基幹	無機化学 1	2		2		2	
	専門基幹	分析化学	2		2		2	
	専門基礎	生物学基礎	2		2		2	
	専門基幹	物理化学 2		2	2		2	
	専門基幹	有機化学 3		2		2		2
4 S	専門展開	高分子化学		2	2		2	
	専門基幹	物理化学 3		2		2		2
	専門基幹	量子化学 1		2		2		2
5 S	専門展開	電気化学	2		2		2	
	教職専門	地学実験	1		1		1	
	専門基幹	量子化学 2		2		2		2
	専門展開	無機合成化学		2		2		2
	専門展開	界面化学		2		2		2
	専門基幹	生化学		2		2		2
6 S	専門基幹	地球環境科学	2		2		2	
	教職専門	生物学実験	1		1		1	
	専門展開	触媒化学		2		2		2
	専門展開	錯体化学		2		2		2
	教職専門	電磁気学	2		2		2	
7 S	専門基礎	統計力学基礎		2		2		2
	教職専門	宇宙科学		2		2		2
5 S-8 S	教養科目	生命科学	2		2		2	
	教養科目	地球科学	2		2		2	
合計			34	28	38	24	38	24

表 2-3-3 「教職に関する科目」の科目群

開講学期	授業科目	中学		高校		中・高	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択
1S	教職概論	2		2		2	
2S	教育行政学	2		2		2	
	教育原理	2		2		2	
3S	理科教育法 1	2		2		2	
	教育課程論	2		2		2	
	教育と社会		2		2		2
4S	理科教育法 2	2		2		2	
	特別支援教育論	1		1		1	
	教育心理学	2		2		2	
	介護体験入門	1				1	
5S	理科教育法 3	2			2	2	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2		2		2	
	生徒指導・進路指導論	2		2		2	
	教育の方法・技術と ICT	2		2		2	
6S	理科教育法 4	2			2	2	
	特別活動論	2		2		2	
	教育相談	2		2		2	
	道徳教育の理論と実践	2				2	
7S	教育実習事前事後指導	1		1		1	
	教育実習A	4				4	
	教育実習 B			2			
8S	教職実践演習	2		2		2	
合計		39	2	30	6	39	2

表 2-3-4 「教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6」の要件を満たす科目群

開講学期	科目区分	授業科目	単位数	備考
1S	教養科目 コミュニケーションスキル	英語理解基礎 1	1	指定された 2 科目 2 単 位を修得す ること。
1S		英語表現基礎 1	1	
1S		英語理解 1	1	
1S		英語表現 1	1	
1S		英語理解発展 1	1	
1S		英語表現発展 1	1	
1S	教養科目 情報リテラシー	情報処理	2	
2S	教養科目 人間力養成	スポーツ科学	2	
1S	教養科目	憲法と社会	2	

(7) 履修上で特に注意すべき内容

7-1 1年次前期(1S)の履修および後期(2S)の履修

(a) 教養科目の「学部指定科目群1」の履修登録は、指定日時に先着順で行われる。したがって、指定日時になるべく早く履修システムにアクセスして必修科目である「憲法と社会」(火曜・1限)を登録すること。万が一、登録できなかった場合には、2Sで開講の「憲法と社会」(木曜・3限)を必ず登録して、履修すること。

(b) 教職に関する科目「教職概論」の第1回授業では、教職課程の履修登録や教職課程に関する重要な連絡があるので、欠席・遅刻しないこと。

7-2 2年次前期(3S)および後期(4S)の履修登録

(a) 2年次の履修登録期間中に、必ず教職に関する科目は全て履修登録する。教育実習を行うために必要な科目である「理科教育法1」は特に注意し、必ず履修登録する。

(b) 万が一、1Sと2Sで「憲法と社会」の単位取得ができなかった場合には、2年生の履修登録時に、教養科目の「憲法と社会」を、必ず履修登録し単位を修得する。

(c) 4Sに開講される教職に関する科目は全て履修登録する。特に中学校の免許状を取得する場合、「介護体験入門」を必ず履修登録する。この科目の単位を修得していないと、3年次に実施する「介護等体験」ができない。

7-3 3年次前期(5S)および後期(6S)の履修登録

(a) 教科に関する科目「生命科学」と「地球科学」は教養科目なので、3年次の履修登録で必ず「生命科学」と「地球科学」の履修登録を行うこと。前期と後期に1科目ずつ登録することになる。履修の順番はどちらでもよい。

(b) 教職専門科目「地学実験」は教職課程の履修者のみが履修できる。4月の3年次開講科目の履修登録期間に履修登録すること。

(c) 教職専門科目「生物学実験」は教職課程の履修者のみが履修できる。4月の3年次開講科目の履修登録期間に履修登録すること。

(d) 教職専門科目「電磁気学」は教職課程の履修者のみが履修できる。4月の3年次開講科目の履修登録期間に履修登録すること。

(e) 「教育実習事前事後指導」の模擬授業に関する指導が3年次の7月から翌年3月頃に実施される。したがって理科で教育実習を行う者のみ、3年次に履修登録を行う。4月の3年次開講科目の履修登録期間に履修登録すること。

7-4 4年次前期（7S）の履修登録

(a) 中学校の免許状取得（中学校と高等学校の両方の免許状取得）を希望する場合は、「教育実習A」を選択する。高等学校の免許状取得のみ（中学校の免許状取得はしない）を希望する場合は、「教育実習B」を選択すること。

(b) 教職専門科目「宇宙科学」は教職課程の履修者のみが履修できる。4月の4年次開講科目の履修登録期間に履修登録すること。

(c) 3年次の7月から翌年3月頃に実施予定の「教育実習事前指導」（3年次に履修登録）で不合格になった場合は、4年次に教育実習は出来ない。その際は「教育実習事前事後指導」を4年次4月の履修登録時に削除すること。

（8）応用化学科 教職課程履修者のための履修例

教職課程履修者のための履修例を次ページに示すので、参考にして履修計画を立てること。

応用化学科 中学・高校理科教職課程履修者用履修例

学年		セメスター		1年		2年		3年		4年									
				1S	2S	3S	4S	5S	6S	7S	8S								
教養科目	教養共通科目	教職	中学・高校（必修）	憲法と社会（学部指定科目群1）2				生命科学（学部指定科目群2）2		地球科学（学部指定科目群2）2									
		1・2年（学部指定科目群1） 3・4年（学部指定科目群2）			学部指定科目群1の1科目2		学部指定科目群1の2科目2		4Sに設置科目なし（履修の場合は2S設置科目を履修）										
	教養特別科目	一部GPA除外（CAP対象科目注意！）																	
	コミュニケーションスキル	教職	1S履修の英語のみ中学・高校（必修）	英語 英語 日本語	1 1 1	英語 英語	1 1	英語 英語	1 1										
	情報リテラシー	教職	中学・高校（必修）	情報処理	2														
	人間力養成	教職	「スポーツ科学」のみ中学・高校（必修）	初年次教育（必修） キャリアデザイン1（必修）	1 1	キャリアデザイン2（必修）	1			キャリアデザイン3（必修）	1								
	総合分野	（選択必修） （1, 2年次科目必修） （3, 4年次科目選択必修）			異文化理解	2	言語と文化1	2	言語と文化2	2	総合科目の1科目	2							
国際理解								選択必修の1科目		2									
専門科目	専門基礎科目	教職（教科に関する科目）	中学・高校（必修）	化学基礎 物理学基礎 化学（または物理学）実験	2 2 2	化学応用 物理学（または化学）実験	2 2	物理学応用 生物学基礎	2 2										
			中学・高校（選択）	数学基礎 線形代数基礎	2 2	微分積分 線形代数応用	2 2			統計力学基礎	2								
		専門（選択）CAP上限を超えない範囲で履修する。									確率統計	2							
	専門基幹科目	教職（教科に関する科目）	中学・高校（必修）	有機化学1	2	物理化学1	2	無機化学1 分析化学	2 2										
			高校（必修）(*1)				物理化学2	2											
		中学・高校（選択）		有機化学2	2	有機化学3	2	物理化学3 量子化学1	2 2	生化学 量子化学2	2 2								
		学科（必修）			応用化学概論		2			技術者倫理 環境マネージメント 化学反応工学	2 2 2	機器分析学2	2	特許及び情報検索法	2				
	専門展開科目	教職（教科に関する科目）	中学・高校（必修）					高分子化学		2									
			高校（必修）(*1)							電気化学	2								
		中学・高校（選択）	実験・ゼミナール（必修）				応用化学実験1	2	応用化学実験2	2	応用化学実験3	2	ゼミナール	2	卒業研究	2			
専門（選択）CAP上限を超えない範囲で履修する。									無機合成化学 界面化学 有機合成化学 高分子材料 結晶科学	2 2 2 2 2	触媒化学 錯体化学 バイオマテリアル 機能的無機材料 エネルギー・環境化学工学 分子設計	2 2 2 2 2	卒業研究	2	卒業研究	5			
教職用（卒業要件・GPA除外）	教職（教科に関する科目）	中学・高校（必修）							地学実験	1	生物学実験 電磁気学	1 2	宇宙科学	2					
中学・高校（選択）																			
教職科目	教職に関する科目	中学・高校 共通（必修）		教職概論	2	教育原理 教育行政学	2 2	教育課程論 理科教育法1 特別支援教育論	2 2 1	教育心理学 理科教育法2	2 2	生徒指導・進路指導論 総合的な学習の時間の理論と実践 教育の方法・技術とICT	2 2 2	教育相談 特別活動論 教育実習B（高校のみ2） 教育実習事前事後指導	2 2 2 1	教育実習A 教育実習B（高校のみ2） 教育実習事前事後指導	4 2 1	教職実践演習	2
		中学（必修）								介護体験入門	1			道徳教育の理論と実践	2				
		中学（必修）高校（選択）								理科教育法3		2			理科教育法4	2			
		中学・高校 共通（選択）						教育と社会		2									
計	GPA除外科目の単位を含む（教職科目含まず）			23	23	22	18	27	22	10	5								
累計				46	46	86	135	150											
計	GPA除外科目の単位を引いた場合（教職科目含まず）			21	22	22	18	26	22	10	5								
累計				43	43	83	131	146											
3単位超過																			
計	GPA除外科目の単位と教職の単位を含む			25	27	28	24	36	33	17	7								
累計				52	52	104	173	197											

[4] 各学科の教職科目

今まで説明した内容に基づいて、各学科において教員免許申請のために開講されている科目、教育職員免許法に基づいた各科目を一覧にしたので、参考にしてください。

機械工学科(教員免許の教科:工業)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1		1	2単位
		英語表現基礎1		1	
		英語理解1		1	
		英語表現1		1	
		英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1			
教科及び教科の指導法に関する科目	工業関係科目	工業数学	2	必修	
		工業力学	2	必修	
		基礎材料力学	2	必修	
		基礎機械設計	2	必修	
		基礎機械製図	2	必修	
		基礎機械力学	2	必修	
		生産加工学	2	必修	
		材料力学	2	必修	
		熱力学	2	必修	
		流れ学	2	必修	
		機械設計	2	必修	
		機械製図	2	必修	
		CAD演習	2	必修	
		応用機械設計製図	2	必修	
		機械工学実験1	2	必修	
		機械工学実験2	2	必修	
		機械力学	2		
		応用熱力学	2		
		応用流れ学	2		
		工作機械	2		
	工学概論	2*	必修		
	職業指導	職業指導1	2*	必修	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	工業科教育法1	2*	必修	
工業科教育法2		2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修		
	教職概論	2*	必修		
	教育行政学	2*	必修		
	教育と社会	2*			
	教育心理学	2*	必修		
	特別支援教育論	1*	必修		
	教育課程論	2*	必修		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修		
	特別活動論	2*	必修		
	教育の方法・技術とICT	2*	必修		
	生徒指導・進路指導論	2*	必修		
	教育相談	2*	必修		
	教育実習事前事後指導	1*	必修		
	教育実習B	2*	必修		
	教職実践演習	2*	必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

機械電子創成工学科(教員免許の教科:工業)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1		1	2単位
		英語表現基礎1		1	
		英語理解1		1	
		英語表現1		1	
		英語理解発展1		1	
	英語表現発展1		1		
教科及び教科の指導法に関する科目	工業関係科目	力学	2	必修	
		電気磁気学	2	必修	
		材料力学	2	必修	
		電気回路	2	必修	
		機械電子創成基礎実験・実習	2	必修	
		機械設計製図学	2	必修	
		材料とその性質	2	必修	
		アナログ回路	2	必修	
		デジタル回路	2	必修	
		プログラミング言語	2	必修	
		機械電子創成基盤実験・実習	2	必修	
		システム制御理論	2	必修	
		システム制御工学	2	必修	
		計測工学	2	必修	
		デジタルものづくり	2		
		機構学	2		
		機械加工法	2		
		組込みシステム	2		
		電気機器学	2		
	ネットワークプログラミング	2			
	工学概論	2*	必修		
	職業指導	職業指導1	2*	必修	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	工業科教育法1	2*	必修	
工業科教育法2		2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修		
	教職概論	2*	必修		
	教育行政学	2*	必修		
	教育と社会	2*			
	教育心理学	2*	必修		
	特別支援教育論	1*	必修		
	教育課程論	2*	必修		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修		
	特別活動論	2*	必修		
	教育の方法・技術とICT	2*	必修		
	生徒指導・進路指導論	2*	必修		
	教育相談	2*	必修		
	教育実習事前事後指導	1*	必修		
	教育実習B	2*	必修		
	教職実践演習	2*	必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

先端材料工学科(教員免許の教科:工業)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1		1	2単位
		英語表現基礎1		1	
		英語理解1		1	
		英語表現1		1	
		英語理解発展1		1	
	英語表現発展1		1		
教科及び教科の指導法に関する科目	工業関係科目	基礎材料工学	2	必修	
		材料物理学	2	必修	
		エネルギー工学概論	2	必修	
		材料組織学	2	必修	
		固体物理学	2	必修	
		材料熱化学	2	必修	
		材料電気化学	2	必修	
		材料力学及び演習	2	必修	
		構造材料1	2	必修	
		技術者倫理	2	必修	
		塑性加工学	2	#	
		表面工学	2		
		材料化学プロセス工学1	2		
		融体成形工学	2		
		粉体材料工学	2		
		材料強度学1	2		
		構造材料2	2		
		半導体材料	2		
	磁性材料	2			
	リサイクル工学	2			
	工学概論	2*	必修		
職業指導	職業指導1	2*	必修		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	工業科教育法1	2*	必修		
	工業科教育法2	2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修		
	教職概論	2*	必修		
	教育行政学	2*	必修		
	教育と社会	2*			
	教育心理学	2*	必修		
	特別支援教育論	1*	必修		
	教育課程論	2*	必修		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修		
	特別活動論	2*	必修		
	教育の方法・技術とICT	2*	必修		
	生徒指導・進路指導論	2*	必修		
	教育相談	2*	必修		
	教育実習事前事後指導	1*	必修		
	教育実習B	2*	必修		
	教職実践演習	2*	必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#の科目から6単位以上

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

電気電子工学科(教員免許の教科:工業)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1		1	2単位
		英語表現基礎1		1	
		英語理解1		1	
		英語表現1		1	
		英語理解発展1		1	
	英語表現発展1		1		
教科及び教科の指導法に関する科目	工業関係科目	電気磁気学及び演習1	2	必修	
		電気磁気学及び演習2	2	必修	
		電気回路及び演習1	2	必修	
		電気回路及び演習2	2	必修	
		電子デバイス及び演習1	2	必修	
		電子回路及び演習1	2	必修	
		電子物性	2	必修	
		電気電子工学実験1	2	必修	
		電気電子工学実験2	2	必修	
		電気電子工学実験3	2	必修	
		計測工学	2	#	
		電気回路解析学	2		
		電子デバイス2	2		
		電気音響工学	2		
		プラズマエレクトロニクス	2		
		電磁エネルギー変換工学	2		
		パワーエレクトロニクス	2		
		発電工学	2		
		高電圧工学	2		
	電気電子材料	2			
		工学概論	2*	必修	
	職業指導	職業指導1	2*	必修	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	工業科教育法1	2*	必修	
工業科教育法2		2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修		
	教職概論	2*	必修		
	教育行政学	2*	必修		
	教育と社会	2*			
	教育心理学	2*	必修		
	特別支援教育論	1*	必修		
	教育課程論	2*	必修		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修		
	特別活動論	2*	必修		
	教育の方法・技術とICT	2*	必修		
	生徒指導・進路指導論	2*	必修		
	教育相談	2*	必修		
	教育実習事前事後指導	1*	必修		
	教育実習B	2*	必修		
	教職実践演習	2*	必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#の科目から6単位以上

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

応用化学科(教員免許の教科:理科)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2 必修	
	体育	スポーツ科学	2 必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2 必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
英語理解発展1		1		
英語表現発展1	1			
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学基礎	2 必修	
		物理学応用	2 必修	
		統計力学基礎	2	
	化学	電磁気学	2*	必修
		化学基礎	2	必修
		有機化学1	2	必修
		化学応用	2	必修
		物理化学1	2	必修
		無機化学1	2	必修
		物理化学2	2	必修%
		分析化学	2	必修
		高分子化学	2	必修%
		電気化学	2	必修
		有機化学2	2	
		有機化学3	2	
		物理化学3	2	
		量子化学1	2	
		量子化学2	2	
		無機合成化学	2	
		界面化学	2	
	触媒化学	2		
	錯体化学	2		
	生物学	生物学基礎	2	必修
		生命科学	2	必修
		生化学	2	
	地学	地球科学	2	必修
		地球環境科学	2	必修
		宇宙科学	2*	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	物理学実験	2	必修
	化学実験 (コンピュータ活用を含む)	化学実験	2	必修
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	生物学実験	1*	必修
地学実験 (コンピュータ活用を含む)	地学実験	1*	必修	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	理科教育法1	2*	必修	
	理科教育法2	2*	必修	
	理科教育法3	2*	必修#1	
	理科教育法4	2*	必修#1	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*		
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	道徳教育の理論と実践	2*	必修#1	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習A	4*	必修#2	
	教育実習B	2*	必修%	
	教職実践演習	2*	必修	
	介護体験入門	1*	必修#1	

*: 進級・卒業要件に含まれない単位

必修%: 高等学校免許取得希望者のみ必修

必修#1: 中学校免許取得希望者のみ必修

必修#2: 中学校免許のみまたは中学と高等学校の免許取得希望者

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

都市環境工学科(教員免許の教科:工業)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2# 必修	
	体育	スポーツ科学	2 必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2 必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
英語理解発展1		1		
	英語表現発展1	1		
教科及び教科の指導法に関する科目	工業関係科目	構造力学1	2 必修	
		構造力学2	2 必修	
		土質力学	2 必修	
		応用力学	2 必修	
		水理学1	2 必修	
		水理学2	2 必修	
		環境アセスメント	2 必修	
		地球環境学	2 必修	
		都市計画	2 必修	
		防災工学	2 必修	
		測量実習	2 必修	
		測量学	2 必修	
		技術者倫理	2 必修	
		都市環境工学実験	2 必修	
		橋梁工学	2	
		地盤工学	2	
		衛生工学	2	
	交通計画	2		
	交通工学	2		
	景観工学	2		
	建設施工	2		
	工学概論	2* 必修		
	職業指導	職業指導1	2* 必修	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	工業科教育法1	2* 必修		
	工業科教育法2	2* 必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2* 必修		
	教職概論	2* 必修		
	教育行政学	2* 必修		
	教育と社会	2*		
	教育心理学	2* 必修		
	特別支援教育論	1* 必修		
	教育課程論	2* 必修		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2* 必修		
	特別活動論	2* 必修		
	教育の方法・技術とICT	2* 必修		
	生徒指導・進路指導論	2* 必修		
	教育相談	2* 必修		
	教育実習事前事後指導	1* 必修		
	教育実習B	2* 必修		
	教職実践演習	2* 必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#:学部指定科目群1に含まれない単位

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

情報工学科(教員免許の教科:数学)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	2	必修	
	体育	2	必修	
	※数理又は情報機器	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
		英語理解発展1	1	
	英語表現発展1	1		
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	線形代数特論	2	必修
		線形代数基礎	2	必修
		初等整数論	2	必修
		線形代数応用 ☆	2	%
		離散数学	2	%
	幾何学	幾何学1	2*	必修
		幾何学2	2*	必修
		グラフィックス	2	%
	解析学	解析学1	2*	必修
		解析学2	2*	必修
		数学基礎	2	必修
		微分積分 ☆	2	%
		微分方程式	2	
		応用解析	2	
		数値解析	2	
	「確率論, 統計学」	確率統計	2	必修
		統計解析	2	%
	コンピュータ	プログラミング演習1	2	必修
		プログラミング演習2	2	必修
		情報理論	2	%
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	数学科教育法1	2*	必修
		数学科教育法2	2*	必修
		数学科教育法3	2*	必修#1・2
数学科教育法4		2*	必修#1・2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*	%	
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	道徳教育の理論と実践	2*	必修#1	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習A	4*	必修#2	
	教育実習B	2*	必修#3	
	教職実践演習	2*	必修	
	介護体験入門	1*	必修#1	

*: 進級・卒業要件に含まれない単位

☆: 線形代数応用及び微分積分を修得すること。(幾何学1・2、解析学1・2の履修前提科目)

%の科目の中から高等学校免許は4単位以上

必修#1: 中学校免許取得希望者のみ必修

必修#2: 中学校免許のみまたは中学と高校の免許取得希望者

必修#3: 高等学校免許のみ取得希望者

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

情報工学科(教員免許の教科:情報)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2 必修	
	体育	スポーツ科学	2 必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2 必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
英語理解発展1		1		
英語表現発展1	1			
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会及び情報倫理	情報工学概論	2 必修	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	計算機工学	2 必修	
		ソフトウェア工学	2 必修	
		アルゴリズム	2 必修	
		情報工学実験1	3 必修	
		情報工学実験2	3 必修	
		情報工学実験3	2 必修	
		エレクトロニクス	2	#
		論理回路	2	
		オペレーティングシステム	2	
		プログラミング言語	2	
	情報システム (実習を含む)	データベース	2 必修	
		システムソフトウェア	2	#
		人工知能	2	
		自然言語理解	2	
		ロボット工学	2	
		システム理論	2	
	情報通信ネットワーク (実習を含む)	計算機ネットワーク	2 必修	
		デジタル通信	2 #	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む)	画像処理	2 必修	
		デジタル信号処理	2 #	
		音響工学	2	
	情報と職業	情報と職業	2*	必修
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	情報科教育法1	2*	必修	
	情報科教育法2	2*	必修	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*	#	
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習B	2*	必修	
	教職実践演習	2*	必修	

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#の科目から6単位以上

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

情報ネットワーク学科(教員免許の教科:数学)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2 必修	
	体育	スポーツ科学	2 必修	
	※数理又は情報機器	情報リテラシ演習	2 必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
		英語理解発展1	1	
	英語表現発展1	1		
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	線形代数基礎	2 必修	
		代数学1	2 必修	
		代数学2	2 必修	
		線形代数応用 ☆	2	%
		現代代数	2	
		情報数学基礎	2	
		情報数学応用	2	
	幾何学	幾何学1	2*	必修
		幾何学2	2*	必修
		コンピュータグラフィックス	2	%
	解析学	解析学1	2*	必修
		解析学2	2*	必修
		数学基礎	2	必修
		微分積分 ☆	2	%
		微分方程式	2	
		応用解析	2	
	数値計算	2		
	「確率論, 統計学」	確率統計	2	必修
		統計解析	2	%
	コンピュータ	Webプログラミング演習	2	必修
		ネットワークプログラミング演習	2	%
		ネットワークプログラミング応用演習	2	
		情報理論	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	数学科教育法1	2*	必修	
	数学科教育法2	2*	必修	
	数学科教育法3	2*	必修#1・2	
	数学科教育法4	2*	必修#1・2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*	%	
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	道德教育の理論と実践	2*	必修#1	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習A	4*	必修#2	
	教育実習B	2*	必修#3	
	教職実践演習	2*	必修	
	介護体験入門	1*	必修#1	

*:進級・卒業要件に含まれない単位

☆:線形代数応用及び微分積分を修得すること。(幾何学1・2、解析学1・2の履修前提科目)

%の科目から高等学校免許は6単位以上

必修#1:中学校免許取得希望者のみ必修

必修#2:中学校免許のみまたは中学と高校の免許取得希望者

必修#3:高等学校免許のみ取得希望者

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

情報ネットワーク学科(教員免許の教科:情報)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2 必修	
	体育	スポーツ科学	2 必修	
	※数理又は情報機器	情報リテラシ演習	2 必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
英語理解発展1		1		
英語表現発展1	1			
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会及び情報倫理	情報社会とビジネス	2 必修	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	ICT基礎	2 必修	
		ソフトウェア開発論	2 必修	
		アルゴリズム	2 必修	
		情報メディア基礎	2 #	
		デジタル回路	2 #	
	情報システム(実習を含む)	データベース	2 必修	
		OSとシステムソフトウェア	2 #	
		知識工学	2	
		分散処理	2	
	情報通信ネットワーク (実習を含む)	コンピュータネットワーク基礎	2 必修	
		情報ネットワーク入門	2 #	
		情報ネットワーク概論	2 #	
		デジタル通信	2	
		LAN	2	
		情報ネットワークと企業戦略	2	
		ネットワーク応用	2	
		Webシステム基礎実験	2 #	
	Webアプリケーション構築実験	2 #		
	マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む)	コンピュータビジョン	2 必修	
デジタル信号処理		2		
音響科学		2		
オーディオコンテンツ		2		
情報と職業	情報と職業	2*	必修	
教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	情報科教育法1	2*	必修	
	情報科教育法2	2*	必修	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*		
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習B	2*	必修	
	教職実践演習	2*	必修	

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#の科目から4単位以上修得すること(指定)

必修・指定で修得した科目以外で10単位以上修得すること。

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

経営情報科学科(教員免許の教科:数学)

科目区分		本学科目名	単位数	要件
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修
	体育	スポーツ科学	2	必修
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
英語理解発展1		1		
英語表現発展1	1			
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	代数学1	2	必修
		代数学2	2	必修
		線形代数入門 ☆	2	%
		オペレーションズリサーチ入門	2	
		離散数学	2	
	幾何学	幾何学1	2*	必修
		幾何学2	2*	必修
	解析学	解析学1	2*	必修
		解析学2	2*	必修
		基礎数学および演習	4	必修
		微分方程式	2	%
	「確率論, 統計学」	データ解析入門	2	必修
		データマイニング入門	2	%
	コンピュータ	モデリング手法概論	2	必修
		情報数学	2	%
		問題解決システム	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	数学科教育法1	2*	必修	
	数学科教育法2	2*	必修	
	数学科教育法3	2*	必修#1・2	
	数学科教育法4	2*	必修#1・2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*	%	
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	道德教育の理論と実践	2*	必修#1	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習A	4*	必修#2	
	教育実習B	2*	必修#3	
	教職実践演習	2*	必修	
	介護体験入門	1*	必修#1	

*: 進級・卒業要件に含まれない単位

☆: 線形代数入門を修得すること。(幾何学1・2、解析学1・2の履修前提科目)

%の科目から高等学校免許は8単位以上

必修#1: 中学校免許取得希望者のみ必修

必修#2: 中学校免許のみまたは中学と高校の免許取得希望者

必修#3: 高等学校免許のみ取得希望者

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

経営情報科学科(教員免許の教科:工業)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1		1	2単位
		英語表現基礎1		1	
		英語理解1		1	
		英語表現1		1	
		英語理解発展1		1	
英語表現発展1		1			
教科及び教科の指導法に関する科目	工業関係科目	情報リテラシ	2	16単位 #A	
		情報処理基礎および演習	4		
		システム方法論	2		
		人間工学概論	2		
		生産システム工学	2		
		環境システム科学	2		
		生産管理	2		
		品質管理	2		
		環境マネジメントおよび演習	2		
		情報システム基礎	2		
		応用情報処理および演習	4		
		オペレーションズリサーチ応用	2		
		情報ネットワーク	2		
		環境リスクマネジメント	2		
		マルチメディア情報処理	2		
	行動科学分析	2			
	オブジェクト指向システム設計	2			
	工学概論	2*	必修		
	職業指導	職業指導1	2*	必修	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	工業科教育法1	2*	必修	
工業科教育法2		2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修		
	教職概論	2*	必修		
	教育行政学	2*	必修		
	教育と社会	2*	#C		
	教育心理学	2*	必修		
	特別支援教育論	1*	必修		
	教育課程論	2*	必修		
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修		
	特別活動論	2*	必修		
	教育の方法・技術とICT	2*	必修		
	生徒指導・進路指導論	2*	必修		
	教育相談	2*	必修		
	教育実習事前事後指導	1*	必修		
	教育実習B	2*	必修		
	教職実践演習	2*	必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#A, #B, #Cの科目の中から10単位以上(ただし#Aの取得単位16単位分を除く)

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

経営情報科学科(教員免許の教科:商業)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位	
		英語表現基礎1	1		
		英語理解1	1		
		英語表現1	1		
		英語理解発展1	1		
	英語表現発展1	1			
教科及び教科の指導法に関する科目	商業関係科目	社会システム科学入門	2	必修	
		知的財産権	2	16単位 #A	
		企業と経営	2		
		ビジネスコミュニケーション	2		
		社会システムと意思決定	2		
		経営管理論	2		
		会計システムおよび演習	4		
		リスクマネジメント概論	2		
		原価管理および演習	4		
		企業の法的環境	2		
		金融工学入門	2		
		ベンチャービジネス論	2		#B
		組織学習	2		
	技術経営	2			
	マーケティングマネジメント	2			
	経営情報システム	2			
	流通情報システム論	2			
	企業実習	2			
	職業指導	職業指導2	2*	必修	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	商業科教育法1	2*	必修	
商業科教育法2		2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修		
	教職概論	2*	必修		
	教育行政学	2*	必修		
	教育と社会	2*	#C		
	教育心理学	2*	必修		
	特別支援教育論	1*	必修		
	教育課程論	2*	必修		
	総合的な学習の時間の理論と実	2*	必修		
	特別活動論	2*	必修		
	教育の方法・技術とICT	2*	必修		
	生徒指導・進路指導論	2*	必修		
	教育相談	2*	必修		
	教育実習事前事後指導	1*	必修		
	教育実習B	2*	必修		
	教職実践演習	2*	必修		

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#A, #B, #Cの科目の中から10単位以上(ただし#Aの取得単位16単位分を除く)

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

プロジェクトマネジメント学科(教員免許の教科:数学)

科目区分	本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2 必修	
	体育	スポーツ科学	2 必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2 必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1	1	2単位
		英語表現基礎1	1	
		英語理解1	1	
		英語表現1	1	
英語理解発展1		1		
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	代数学1	2 必修	
		代数学2	2 必修	
		線形代数入門 ☆	2	%
		オペレーションズリサーチ入門	2	
		離散数学	2	
		数理計画	2	
	幾何学	幾何学1	2*	必修
		幾何学2	2*	必修
	解析学	解析学1	2*	必修
		解析学2	2*	必修
		基礎数学および演習	4	必修
		微分方程式	2	%
	「確率論, 統計学」	データ解析入門	2	必修
		データマイニング入門	2	%
	コンピュータ	コンピュータサイエンス入門	2	必修
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	数学科教育法1	2*	必修
		数学科教育法2	2*	必修
数学科教育法3		2*	必修#1・2	
数学科教育法4		2*	必修#1・2	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理	2*	必修	
	教職概論	2*	必修	
	教育行政学	2*	必修	
	教育と社会	2*	%	
	教育心理学	2*	必修	
	特別支援教育論	1*	必修	
	教育課程論	2*	必修	
	道徳教育の理論と実践	2*	必修#1	
	総合的な学習の時間の理論と実践	2*	必修	
	特別活動論	2*	必修	
	教育の方法・技術とICT	2*	必修	
	生徒指導・進路指導論	2*	必修	
	教育相談	2*	必修	
	教育実習事前事後指導	1*	必修	
	教育実習A	4*	必修#2	
	教育実習B	2*	必修#3	
	教職実践演習	2*	必修	
介護体験入門	1*	必修#1		

*: 進級・卒業要件に含まれない単位

☆: 線形代数入門を修得すること。(幾何学1・2、解析学1・2の履修前提科目)

%の科目から高等学校免許は8単位以上

必修#1: 中学校免許取得希望者のみ必修

必修#2: 中学校免許のみまたは中学と高校の免許取得希望者

必修#3: 高等学校免許のみ取得希望者

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

プロジェクトマネジメント学科(教員免許の教科:情報)

科目区分		本学科目名	単位数	要件	
教養教育科目	日本国憲法	憲法と社会	2	必修	
	体育	スポーツ科学	2	必修	
	※数理又は情報機器	情報処理	2	必修	
	外国語コミュニケーション	英語理解基礎1		1	2単位
		英語表現基礎1		1	
		英語理解1		1	
		英語表現1		1	
		英語理解発展1		1	
	英語表現発展1		1		
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会及び情報倫理	情報リテラシ	2	必修	
		情報技術社会論	2	#	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	プログラム言語とプログラミング	2	必修	
		情報処理基礎および演習	4	必修	
		プログラム言語応用	2	#	
	情報システム (実習を含む)	データ構造入門	2	#	
		情報システム開発	2	必修	
		ソフトウェア開発管理	2	必修	
		ユーザビリティエンジニアリング	2	必修	
		コミュニケーションマネジメント	2	#	
		モデリングとシミュレーション	2		
		ソフトウェア開発の定量化技法	2		
		サイバermanyファクチュアリング	2		
	ユーザ要求とシステム設計	2			
	ナレッジマネジメント	2			
	情報通信ネットワーク (実習を含む)	情報とセキュリティ	2	#	
		コンピュータネットワークとアプリケーション	2	必修	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む)	マルチメディアシステム概論	2	必修	
情報と職業	情報と職業	2*	必修		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む)	情報科教育法1	2*	必修		
	情報科教育法2	2*	必修		
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原理		2*	必修	
	教職概論		2*	必修	
	教育行政学		2*	必修	
	教育と社会		2*	#	
	教育心理学		2*	必修	
	特別支援教育論		1*	必修	
	教育課程論		2*	必修	
	総合的な学習の時間の理論と実践		2*	必修	
	特別活動論		2*	必修	
	教育の方法・技術とICT		2*	必修	
	生徒指導・進路指導論		2*	必修	
	教育相談		2*	必修	
	教育実習事前事後指導		1*	必修	
	教育実習B		2*	必修	
	教職実践演習		2*	必修	

*:進級・卒業要件に含まれない単位

#の科目から10単位以上

※数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

学科の進級・卒業要件については、学生便覧の対応する学科の進級・卒業要件及び教育課程表を参照のこと

[5] 時間割について

教職課程の時間割の一例をあげるので参考にしてください。

1年 前期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						教職概論
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

1年 後期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						教育行政学
4						
5						
6						教育原理
7						
8						
9						
10						

2年 前期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						工業科教育法1 理科教育法1 数学科教育法1
4						
5						
6						教育課程論 商業科教育法1
7						
8						教育と社会 情報科教育法1
9	幾何学1		解析学1			
10						

夏期集中 特別支援教育論(時間等は掲示で確認すること)

2年 後期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						工業科教育法2 理科教育法2 数学科教育法2
4						
5						
6						教育心理学
7						
8						商業科教育法2
9	幾何学2		解析学2			
10						

春期集中 介護体験入門(時間等は掲示で確認すること)
情報科教育法2

3年 前期

	月	火	水	木	金	土
1						職業指導1 理科教育法3 数学科教育法3
2						
3						生徒指導・進路指導論
4						
5						
6						
7						
8						総合的な学習の 時間の理論と実践
9		教育の方法・技術とICT	工学概論			
10						

夏期集中 地学実験(応用化学科のみ、時間等は掲示で確認すること)

3年 後期

	月	火	水	木	金	土
1						理科教育法4 数学科教育法4
2						
3						特別活動論
4						
5						
6				情報と職業		職業指導2
7						
8						
9		道徳教育の理論と実践		教育相談	電磁気学 (応化のみ)	
10						

春期集中 生物学実験(応用化学科のみ、時間等は掲示で確認すること)

春期集中 教育実習事前事後指導(応用化学科のみ)

4年 前期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9	宇宙科学 (応化のみ)					
10						

集中 教育実習事前事後指導
集中 教育実習A/B

4年 後期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						教職実践演習
9						
10						

集中 教育実習事前事後指導
集中 教育実習A/B

[6] 本学教職課程履修に関する問い合わせ先一覧

教員・職員	電話番号	研究室	メールアドレス
* 教職全般			
草野 滋之 教授	047-454-9667	新習志野校舎 研究棟7階 社会第5研究室	kusano.shigeyuki@p.chibakoudai.jp
古賀 毅 教授	047-454-9607	新習志野校舎 研究棟2階 社会第3研究室	koga.tsuyoshi@p.chibakoudai.jp
福島 尚子 准教授	047-454-9672	新習志野校舎 研究棟2階 社会第4研究室	fukushima.shoko@p.chibakoudai.jp
市川 洋子 助教	047-454-9696	新習志野校舎 研究棟2階 社会第6研究室	ichikawa.yoko@it-chiba.ac.jp
重 歩美 助教		新習志野校舎 3号館1階 社会第7研究室	ayumi.shige@p.chibakoudai.jp
* 数学			
泉 英明 教授	047-454-9621	新習志野校舎 1 2号館5階 数学第2研究室	izumi.hideaki@p.chibakoudai.jp
橋口 秀子 教授	047-454-9625	新習志野校舎 1 2号館6階 数学第7研究室	hashiguchi.hideko@p.chibakoudai.jp
杉山 和成 教授	047-454-9624	新習志野校舎 1 2号館6階 数学第6研究室	sugiyama.kazunari@p.chibakoudai.jp
* 理科			
松澤 秀則 教授	047-478-0309	津田沼校舎 1号館7階 理論化学研究室	matuzawa@sun.it-chiba.ac.jp
筑紫 格 教授	047-454-9637	新習志野校舎 2号館4階 物理第8研究室	tsukushi@sky.it-chiba.ac.jp
寺本 直純 教授	047-478-0406	津田沼校舎 1号館5階 ソフトマテリアル化学研究室	teramoto.naozumi@it-chiba.ac.jp
* 情報			
山崎 治 准教授	047-478-0282	津田沼校舎 7号館6階 NS第2研究室	yamazaki.osamu@p.chibakoudai.jp
* 工業			
古賀 毅 教授	047-454-9607	新習志野校舎 研究棟2階 社会第3研究室	koga.tsuyoshi@p.chibakoudai.jp
福島 尚子 准教授	047-454-9672	新習志野校舎 研究棟2階 社会第4研究室	fukushima.shoko@p.chibakoudai.jp
* 商業			
秋葉 知昭 教授	047-478-0342	津田沼校舎 2号館16階 経情オフィス・ラボ5	tomoaki.akiba@p.chibakoudai.jp
* 事務手続き			
津田沼教務担当	047-478-0234	津田沼校舎 1号館1階	t-kyoumu@it-chiba.ac.jp
新習志野教務担当	047-454-9754	新習志野校舎 1 2号館1階	siba-jimu@it-chiba.ac.jp

MEMO

Part 3

Part 3

大学院の教職課程 【参考資料】

- [1] 大学院で取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科…………… 66
- [2] 基礎資格と大学における最低修得単位数…………… 67
- [3] 教職科目履修生の手続き方法について…………… 68
- [4] 専修免許状授与申請手続きについて…………… 68

大学院の教職課程

[1] 大学院で取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科

本大学院の各専攻において取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は次のとおりです。

中学校教諭専修免許状 数学・理科
 高等学校教諭専修免許状 数学・理科・工業

各研究科・専攻で取得できる教育職員免許状の種類一覧

研 究 科	専 攻	免許状の種類	免許教科
工 学 研 究 科	機 械 工 学 専 攻 機 械 電 子 創 成 工 学 専 攻 先 端 材 料 工 学 専 攻 電 気 電 子 工 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状	工 業
	応 用 化 学 専 攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理 科
情 報 科 学 研 究 科	情 報 科 学 専 攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	数 学
社 会 シ ス テ ム 科 学 研 究 科	マ ネ ジ メ ン ト 工 学 専 攻	高等学校教諭専修免許状	工 業

[2] 基礎資格と大学における最低修得単位数

専修免許状を取得するための基礎資格及び大学において修得することを必要とする最低単位数は、次のとおりです。

免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	28	27	28
高等学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること	24	23	36

専修免許状を取得するためには、一種免許状の取得に必要な単位数に加えて、大学院において上記「大学が独自に設定する科目」の単位数のうち、**24単位以上**を修得する必要があります。

専修免許状を取得しようとする者で、専修免許状に学校（中学校・高等学校）及び教科が対応する一種免許状を取得しているものは、「大学が独自に設定する科目」24単位以上を修得すれば同じ教科の専修免許状を申請することができます。

専修免許状の種類	専修免許状を取得するために事前に取得しておくことが必要な免許状（又は同免許状の取得に必要な所定の単位数を修得している場合を含む。）
高等学校教諭専修免許状(工業)	高等学校教諭第一種免許状(工業)
中学校教諭専修免許状(理科)	中学校教諭第一種免許状(理科)
高等学校教諭専修免許状(理科)	高等学校教諭第一種免許状(理科)
中学校教諭専修免許状(数学)	中学校教諭第一種免許状(数学)
高等学校教諭専修免許状(数学)	高等学校教諭第一種免許状(数学)

なお、一種免許状を取得していない者で、専修免許状を取得しようとする者は、大学院在籍中に学部の「教職科目履修生」として不足している教職科目の単位を修得することにより、一種免許状の申請をすることができます。

大学院の「大学が独自に設定する科目」は、大学院要覧の教育課程表に記載されている教職関係欄に「工」・「数」・「理」と示されている科目が該当します。

[3] 教職科目履修生の手続き方法について

教職科目履修生の出願をしようとする者は、次の書類を提出してください。

① 学部在学中に教職課程を受講していた場合

教職科目履修生受講申請書（大学院生用）に必要事項を記入のうえ、教学センターに提出してください。

② 新規に教職課程を受講する場合

教職課程受講申請書及び教職科目履修生受講申請書（大学院生用）に必要事項を記入のうえ、申請手数料 10,000 円を添えて教学センターに提出してください。

なお、教職科目履修生のための手続き期間は4月上旬です。詳細は掲示によりお知らせします。

[4] 専修免許状授与申請手続きについて

教育職員免許状は、単位を充足しても自動的に授与されるものではありません。既に、教職課程履修の手引き Part 1, [6]教育職員免許状取得までのスケジュールと諸手続き（p.12）の項で説明しているとおり、専修免許状においても同様の流れで行います。

MEMO

Part 4

Part 4 資料編

資料目次

- (資料-1) 教職課程受講申請書
- (資料-2) 教職課程授業時間表
- (資料-3) 教育実習申請カード
- (資料-4) 教育実習生調査表
- (資料-5) 誓約書
- (資料-6) 教育実習期間証明書
- (資料-7) 介護等体験申込書 (社会福祉)
- (資料-8) 介護等体験学生プロフィール (社会福祉)
- (資料-9) 介護等体験申込書 (特別支援学校)
- (資料-10) 介護等体験期間証明書
- (資料-11) 介護等体験実習入金票 (社会福祉)
- (資料-12) 公立学校教員採用試験問い合わせ先一覧
- (資料-13) 都道府県私学協会一覧

(資料-1)

(全学部)

提出日

年 月 日

千葉工業大学学長 殿

教職課程受講申請書

(在籍期間中有効)

本学教職課程の受講志望について、所定の受講手続き手数料を添えて申請致します。

学部名		学生番号						
学科名		氏名						
学 年		年	生年月日			年	月	日生

[取得できる免許状の種類]

免許状の種類		中学校一種免許状		高等学校一種免許状				
		数学	理科	数学	理科	情報	工業	商業
工学部	機械工学科						○	
	機械電子創成工学科						○	
	先端材料工学科						○	
	電気電子工学科						○	
	応用化学科		○		○			
創造工学部	都市環境工学科						○	
情報科学部	情報工学科	○		○		○		
	情報ネットワーク学科	○		○		○		
社会システム科学部	経営情報科学科	○		○			○	○
	プロジェクトマネジメント学科	○		○		○		

証 紙 貼 付 欄 (10,000円)

2023年度 教職課程授業時間表

工学部(機械工学科、機械電子創成工学科、先端材料工学科、電気電子工学科、応用化学科のみ対象)

前期

		教職課程				
		1年次	2年次	3年次	4年次	
月	9				宇宙科学 614 安武 伸俊	
	10					
火	9			教育方法・技術論 611 古賀 毅・山崎・市川		
	10					
水	9			工学概論 612 内海 秀幸・瀧野・加藤・植草・ 新井・小山・永井・相知・小野		
	10					
土	1			職業指導1 613 關 敏昭	理科教育法3 632 吉埜 和雄	
	2					
	3	教職概論 611 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	工業科教育法1 613 關 敏昭	理科教育法1 632 吉埜 和雄	生徒指導・進路指導論 615 重 歩美	
	4					
	5					
	6		教育課程論 615 古賀 毅			
	7					
	8		教育と社会 615 草野 滋之	総合的な学習の時間の理論と実践 614 古賀 毅・福嶋・小林・引原・三村・木 島		
	9					
	10					
集中		特別支援教育論 岩橋 翔・岩谷		地学実験 矢沢 勇樹・久田	教育実習事前事後指導 (理科以外) 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重・關	
					教育実習A/B 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	

【注意】

- (1): 「地学実験」、「宇宙科学」は応用化学科のみ履修可能です。
- (2): 工業教科の取得希望者は、「職業指導1」及び「工学概論」が必修科目です。
- (3): 「教育実習A」は、中学校免許のみ又は中学校と高等学校の免許取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習A」及び「教育実習B」は、いずれも通年受講になります。必ず「前期集中枠」で履修登録をして下さい。
- (4): 「教育実習事前事後指導」は集中枠で履修登録をして下さい。(理科教科の取得希望者は3年次後期から履修登録して下さい。)
- (5): 「総合的な学習の時間の理論と実践」は2019年度以降入学生が履修可能です。また、授業方法等は別途指示します。
- (6): 夏期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (7): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (8): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表

工学部(機械工学科、機械電子創成工学科、先端材料工学科、電気電子工学科、応用化学科のみ対象)

後期

		教職課程				
		1年次	2年次		3年次	4年次
火	9				道徳教育の理論と実践 古賀 毅・草野	
	10					
木	9				教育相談 岩谷 由起	
	10					
金	9				電磁気学 轟木 義一	
	10					
土	1				理科教育法4 吉埜 和雄	
	2					
	3	教育行政学 福島 尚子	工業科教育法2 關 敏昭	理科教育法2 吉埜 和雄	特別活動論 ●●●●	
	4					
	5					
	6	教育原理 古賀 毅・草野	教育心理学 市川 洋子			
	7					
	8					教職実践演習 草野 滋之・古賀・福島・ 市川・重
	9					
	10					
集中		介護体験入門 草野 滋之・古賀・福島・市川・ 重		教育実習事前事後指導 (理科のみ) 草野 滋之・古賀・福島・ 市川・重・松澤・寺本・筑紫 生物学実験 寺本 直純・橋本・ 柴田(裕)・廣木	教育実習A/B 草野 滋之・古賀・福島・ 市川・重	
					※履修登録は前期集中卒 で行います。	

【注意】

- (1): 「道徳教育の理論と実践」、「介護体験入門」、「生物学実験」及び「電磁気学」は応用化学科のみ履修可能です。
- (2): 理科教科の取得希望者は、「電磁気学」が必修科目です。
- (3): 「教育実習A」は、中学校免許のみ又は中学校と高等学校の免許取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習A」及び「教育実習B」は、必ず「前期集中卒」で履修登録をして下さい。
- (4): 「教育実習事前事後指導」は集中卒で履修登録をして下さい。(理科教科の取得希望者は3年次後期から履修登録して下さい。)
- (5): 春期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (6): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (7): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表 創造工学部(都市環境工学科のみ対象)

前期

		教職課程			
		1年次	2年次	3年次	4年次
火	9			教育方法・技術論 611	
	10			古賀 毅・山崎・市川	
水	9			工学概論 612	
	10			内海 秀幸・瀧野・加藤・植草・ 新井・小山・永井・相知・小野	
土	1			職業指導1 613	
	2			關 敏昭	
	3	教職概論 611	工業科教育法1 613	生徒指導・進路指導論 615	
	4	草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	關 敏昭	重 歩美	
	5				
	6		教育課程論 615		
	7		古賀 毅		
	8		教育と社会 615	総合的な学習の時間の理論と実践 614	
	9		草野 滋之	古賀 毅・福嶋・小林・引原・三村・木 島	
	10				
集中				教育実習事前事後指導 草野 滋之・古賀・福嶋・市 川・重・關	
		特別支援教育論 岩橋 翔・岩谷		教育実習B 草野 滋之・古賀・福嶋・市 川・重	

【注意】

- (1): 工業教科の取得希望者は、「職業指導1」及び「工学概論」が必修科目です。
- (2): 「教育実習B」は通年受講となります。必ず「前期集中枠」で履修登録をして下さい。
- (3): 「教育実習事前事後指導」は集中枠で履修登録をして下さい。
- (4): 「総合的な学習の時間の理論と実践」は2019年度以降入学生が履修可能です。また、授業方法等は別途指示します。
- (5): 夏期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (6): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (7): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表

創造工学部(都市環境工学科のみ対象)

後期

		教職課程			
		1年次	2年次	3年次	4年次
木	9			教育相談 岩谷 由起	
	10				
土	1				
	2				
	3	教育行政学 福嶋 尚子	工業科教育法2 關 敏昭	特別活動論 ●●●●	
	4				
	5				
	6	教育原理 古賀 毅・草野	教育心理学 市川 洋子		
	7				
	8				教職実践演習 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重
	9				
	10				
集中				教育実習B 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重 ※履修登録は前期集中枠で 行います。	

【注意】

- (1): 「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、通年授業になります。必ず「前期集中枠」で履修登録をして下さい。
- (2): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (3): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表

情報科学部

前期

		教職課程				
		1年次	2年次		3年次	4年次
月	9		幾何学1 5107 【新習志野開講】 山下 温			
	10					
火	9				教育方法・技術論 611 古賀 毅・市川・山崎	
	10					
水	9		解析学1 5107 【新習志野開講】 星野 慶介			
	10					
土	1				数学科教育法3 612 島上 直人	
	2					
	3	教職概論 611 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	数学科教育法1 612 島上 直人		生徒指導・進路指導論 615 重 歩美	
	4					
	5					
	6		教育課程論 615 古賀 毅			
	7					
	8		教育と社会 615 草野 滋之	情報科教育法1 613 長嶋 秀幸	総合的な学習の時間の理論と実践 614 古賀 毅・福嶋・小林・引原・三村・木島	
	9					
	10					
集中			特別支援教育論 岩橋 翔・岩谷		教育実習事前事後指導 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重・橋口・杉山	
					教育実習A/B 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	

【注意】

- (1): 情報工学科は、自学科で開講される「線形代数特論(2017年度以前入学生は代数学1)」及び「初等整数論(2017年度以前入学生は代数学2)」を履修して下さい。
情報ネットワーク学科は、自学科で開講される「代数学1」及び「代数学2」を履修して下さい。
- (2): 「統計解析」は両学科とも自学科で開講される科目を履修して下さい。
- (3): 「教育実習A」は、中学校免許のみ又は中学校と高等学校の免許取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習A」及び「教育実習B」は、いずれも通年受講になります。必ず「前期集中卒」で履修登録をして下さい。
- (4): 「教育実習事前事後指導」は集中卒で履修登録をして下さい。
- (5): 「総合的な学習の時間の理論と実践」は2019年度以降入学生が履修可能です。また、授業方法等は別途指示します。
- (6): 夏期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (7): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (8): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表

情報科学部

後期

		教職課程			
		1年次	2年次	3年次	4年次
月	9		幾何学2 【新習志野開講】 山下 温		
	10				
火	9			道徳教育の理論と実践 古賀 毅・草野	
	10				
水	9		解析学2 【新習志野開講】 星野 慶介		
	10				
木	6			情報と職業 仲林 清	
	7				
	9			教育相談 岩谷 由起	
	10				
土	1			数学科教育法4 島上 直人	
	2				
	3	教育行政学 福嶋 尚子	数学科教育法2 島上 直人	特別活動論 ●●●●	
	4				
	5				
	6	教育原理 古賀 毅・草野	教育心理学 市川 洋子		
	7				
	8				教職実践演習 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重
	9				
	10				
集中		介護体験入門 草野 滋之・古賀・福嶋・市川・重 情報科教育法2 長嶋 秀幸		教育実習A/B 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重 ※履修登録は前期集中中で 行います。	

【注意】

- (1): 情報教科の取得希望者は「情報と職業」が必修科目です。
- (2): 情報工学科は、自学科で開講される「線形代数特論(2017年度以前入学生は代数学1)」及び「初等整数論(2017年度以前入学生は代数学2)」を履修して下さい。
情報ネットワーク学科は、自学科で開講される「代数学1」及び「代数学2」を履修して下さい。
- (3): 「統計解析」は両学科とも自学科で開講される科目を履修して下さい。
- (4): 「教育実習A」は、中学校免許のみ又は中学校と高等学校の免許取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習A」及び「教育実習B」は、必ず「前期集中」で履修登録をして下さい。
- (5): 「教育実習事前事後指導」は集中中で履修登録をして下さい。
- (6): 春期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (7): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (8): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表

社会システム科学部(経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科のみ対象)

前期

		教職課程					
		1年次	2年次		3年次	4年次	
月	9	幾何学1 5107【新習志野開講】 山下 温					
	10						
火	9			教育方法・技術論 611 古賀 毅・山崎・市川			
	10						
水	9	解析学1 5107【新習志野開講】 星野 慶介		工学概論 612 内海 秀幸・瀧野・加藤・植草・ 新井・小山・永井・相知・小野			
	10						
土	1			職業指導1 613 關 敏昭	数学科教育法3 612 島上 直人		
	2						
	3	教職概論 611 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	工業科教育法1 613 關 敏昭	数学科教育法1 612 島上 直人	生徒指導・進路指導論 615 重 歩美		
	4						
	5						
	6			教育課程論 615 古賀 毅	商業科教育法1 611 赤熊 一英		
	7						
	8	教育と社会 615 草野 滋之	情報科教育法1 613 長嶋 秀幸		総合的な学習の時間の理論と実践 614 古賀 毅・福嶋・小林・引原・三村・木 島		
	9						
	10						
集中			特別支援教育論 岩橋 翔・岩谷			教育実習事前事後指導 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重・關・赤熊・ 橋口・杉山	
						教育実習A/B 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	

【注意】

- (1): 「工業科教育法1」及び「商業科教育法1」は、経営情報科学科のみ受講可能です。
- (2): 「情報科教育法1」は、プロジェクトマネジメント学科のみ受講可能です。
- (3): 工業教科の希望者は「職業指導1」を受講して下さい。また、工業教科と商業教科の両教科を希望する場合も同様です。
※プロジェクトマネジメント学科は受講不可です。
- (4): 数学科の希望者は、両学科とも自学科で開講される「代数学1」及び「代数学2」を履修して下さい。
- (5): 「教育実習A」は、中学校免許のみ又は中学校と高等学校の免許取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習A」及び「教育実習B」は、いずれも通年受講となります。必ず「前期集中枠」で履修登録をして下さい。
- (6): 「教育実習事前事後指導」は集中枠で履修登録をして下さい。
- (7): 「総合的な学習の時間の理論と実践」は2019年度以降入学生が履修可能です。また、授業方法等は別途指示します。
- (8): 夏期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (9): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (10): 授業の講義室については、後日掲示します。

2023年度 教職課程授業時間表

社会システム科学部(経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科のみ対象)

後期

		教職課程				
		1年次	2年次		3年次	4年次
月	9		幾何学2 【新習志野開講】 山下 温			
	10					
火	9				道徳教育の理論と実践 古賀 毅・草野	
	10					
水	9		解析学2 【新習志野開講】 星野 慶介			
	10					
木	6				情報と職業 仲林 清	
	7					
	9				教育相談 岩谷 由起	
	10					
土	1				数学科教育法4 島上 直人	
	2					
	3	教育行政学 福嶋 尚子	工業科教育法2 關 敏昭	数学科教育法2 島上 直人	特別活動論 ●●●●	
	4					
	5					
	6	教育原理 古賀 毅・草野	教育心理学 市川 洋子		職業指導2 赤熊 一英	
	7					
	8		商業科教育法2 赤熊 一英			教職実践演習 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重
	9					
	10					
集中		介護体験入門 草野 滋之・古賀・福嶋・市川・重			教育実習A/B 草野 滋之・古賀・福嶋・ 市川・重	
		情報科教育法2 長嶋 秀幸			※履修登録は前期集中中で 行います。	

【注意】

- (1): 「工業科教育法2」及び「商業科教育法2」は、経営情報科学科のみ受講可能です。
- (2): 「情報科教育法2」は、プロジェクトマネジメント学科のみ受講可能です。
- (3): 商業教科の希望者は「職業指導2」を受講して下さい。また、工業教科と商業教科の両教科を希望する場合も同様です。
※プロジェクトマネジメント学科は受講不可です。
- (4): 「情報と職業」は、プロジェクトマネジメント学科のみ受講可能です。
- (5): 数学教科の希望者は、両学科とも自学科で開講される「代数学1」及び「代数学2」を履修して下さい。
- (6): 「教育実習A」は、中学校免許のみ又は中学校と高等学校の免許取得希望者が履修します。
「教育実習B」は、高等学校免許のみ取得希望者が履修します。
「教育実習A」及び「教育実習B」は、必ず「前期集中中」で履修登録をして下さい。
- (7): 春期集中講義の日程は別途掲示にて発表します。
- (8): 詳細は「学生便覧」及び「教職課程履修の手引き」を参照して下さい。
- (9): 授業の講義室については、後日掲示します。

年度 教育実習申請カード

取得しようとする免許状及び教科に○をつけること

中学校免許状 数学・理科

高等学校免許状 数学・理科・工業・情報・商業

実習生関係	学部	学科	学 年	年	
			学生番号		
	ふりがな				
	氏 名				
	ふりがな				
	本人住所			〒	tel :
本人連絡先	携帯電話番号 :				
	E-mailアドレス :				
実習校関係	ふりがな				
	実 習 校				
	ふりがな				
	校 長 名				
	ふりがな				
	実習校住所			〒	tel :
	実 習 教 科				
	期 間	西暦	年 月 日	～西暦	年 月 日まで 週間
出 身 校		出身校以外			
備 考					

事前に実習校の承諾を得てから記入し、津田沼教務担当・新習志野教務担当に速やかに提出すること。

実習期間は決まっていなければ未記入のまま構いません。

津田沼教務担当

教育実習生調査表

実習校	都道府県	立
	学校	

学 生 番 号			学 科	年	取得見込みの 免許状及び教科 (○でかこむ)	中学校教諭免許状 (数学・理科)
ふ り が な 氏 名			年 月 日	生		高等学校教諭免許状 〔 数学・理科・情報 工業・商業 〕
本 籍	(都道府県名のみ)				教 職 経 験	教職・家庭教師・子供会等 その相手と期間 (アルバイト・所属団体等による経験を含む)
現 住 所						
電 話 番 号						
自宅 下宿 学寮(○でかこむ)	現住所下車駅	線	駅	所 属 団 体		大学内外の団体・研究会等 (学友会も含む)
帰省地住所						
学 歴						
年 月			小学校卒業		性 格 (具 体 的 に)	
年 月			中学校入学			
年 月			中学校卒業			
年 月			高等学校入学			
年 月			高等学校卒業		特 技	
年 月	千葉工業大学	学部	学科入学		趣 味	
家 族 の 状 況						
氏 名	続 柄	年 齢	職 業 又 は 在 学 校 名 (具 体 的 に)			
備 考					写 真	

誓 約 書

学校

校長

殿

今般の教育実習にあたりましては、貴校の教育方針に従い絶対にご迷惑をかけることをここに誓約いたします。

年 月 日

千葉工業大学

学部

学科

氏 名

印

(資料 - 6)

年 月 日

欠 席 届 (教育実習・介護等体験)

先生

学科 年

学生番号

氏 名

印

私は、先生担当の授業を下記の理由により欠席いたします。

I. 欠席する科目

I. 欠席日 計 回

I. 欠席理由 教育実習または、介護等体験の実習のため

実習施設名	
所在地	
実習期間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()

上記のとおり教育実習または介護等体験の実習中であることを証明する。

令和 年 月 日

千葉工業大学
教学センター部長 印

* 印のないものは無効

見本

年 月 日

欠 席 届 (教育実習・**介護等体験**)

先生

学科 年

学生番号

氏 名

印

私は、先生担当の授業を下記の理由により欠席いたします。

I. 欠席する科目

I. 欠席日 計 回

I. 欠席理由 教育実習または、**介護等体験**の実習のため

実習施設名	あかね園
所在地	習志野市茜浜3-4-5
実習期間	令和5年 9月 25日(月) ~ 令和5年 9月 29日(金)

上記のとおり教育実習または介護等体験の実習中であることを証明する。

令和 年 月 日

千葉工業大学
教学センター部長 印

* 印のないものは無効

「介護等体験申込書」

記入日 年 月 日

学 科	
学籍番号	
学 年	年生次 ・ 科目履修生

1 体験申込者氏名

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

フリガナ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 生 年 月 日 1 9

--	--

 年

--	--

 月

--	--

 日

3 性 別 男 女

4 現 住 所 〒

--	--	--	--

 -

--	--	--	--

 ※住所は漢字で記入する。

TEL

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 ※左詰めで記入する。

希望地域	希望地域コード	市町村名					
第1希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第2希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第3希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第4希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第5希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						

※別表1 市町村コード表を参照。

※第3希望までは必ず記入する。

希望種別	施設種別コード	希望種別名(略記)					
第1希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第2希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第3希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第4希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						
第5希望	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						

※別表2 施設コード表を参照。

※第3希望までは必ず記入する。

体験不可能期間	期 間	理 由
	月 日～ 月 日	
	月 日～ 月 日	
	月 日～ 月 日	
	月 日～ 月 日	

介護等体験学生プロフィール

代表者 様

記入日 年 月 日

体験予定日	年 月 日 ~ 年 月 日				写 真 4cm×3cm		
学校名							
学部・学科				学 年			年
氏 名	(フリガナ)						
本籍地	都 道 府 県	生年月日	年 月 日	性 別	男 ・ 女		
現住所				TEL			
				FAX			
緊急連絡先							
帰省先住所	〒 ー			TEL			
				FAX			
◎介護等体験を行うにあたっての自己目標、施設に対する希望等							

◎ 保険への加入について

日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険」に加入

その他の保険に加入（保険会社名： _____ ）

補償の対象が次に掲げる全てに対応しているかを確認し、チェックしてください。

本人の傷害事故 対人の賠償事故 対物及び受託物（紛失、盗取、詐取）の賠償事故

学生氏名

印

(資料-9)

介護等体験申込書（特別支援学校）			
津田沼教務担当			
学 部		学 生 番 号	
学 科		学 年	年
ふりがな 氏 名 (戸籍の文字使用)			
生 年 月 日	年	月	日生
本 籍 地	都道府県名のみ		
現 住 所	〒 _____ 携帯電話 : _____		
実家の電話番号			
体 験 期 間 (※ 記入しない)	年	月	日 ～ 年 月 日
備 考			

千葉工業大学

(資料-10)

介護等体験実習入金票

年 月 日

学 部 名		学 生 番 号	
学 科 名		学 年	年
氏 名			
7,500円の証紙を貼付 (証紙は教学センターの券売機で購入)			

●公立学校教員採用試験問い合わせ先一覧

都道府県名	問い合わせ先	所在地	TEL
1 北海道	北海道教育庁総務政策局教職員課 http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/i05m01.htm	〒060-8544 札幌市中央区北3条西7	011-204-5726
2 青森県	青森県教育庁教職員課 http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyousai.html	〒030-8540 青森市新町2-3-1	017-734-9894
3 岩手県	岩手県教育委員会事務局教職員課 http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=3428&ik=3&pnp=86&pnp=1782&pnp=3428	〒020-8570 盛岡市内丸10-1	019-629-6127 / 6130
4 宮城県	宮城県教育庁教職員課 http://www.pref.miyagi.jp/ky-teacher/	〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-3632 / 3633
5 秋田県	秋田県教育庁義務教育課 http://www.pref.akita.lg.jp/www/genre/000000000000/1127913047083/index.html	〒010-8580 秋田市山王3-1-1	018-860-5145 / 5164
6 山形県	山形県教育庁総務課教職員室 http://www.pref.yamagata.jp/exam/recruit/7700001h19kyosaijoho.html	〒990-8570 山形市松波2-8-1	023-630-2863 / 2864
7 福島県	福島県教育庁学校経営支援課 http://www.keiei.fks.ed.jp/	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16	024-521-7764
8 茨城県	茨城県教育庁義務教育課／高校教育課 http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/saiyou/index.htm	〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6	029-301-5220 / 5256
9 栃木県	栃木県教育委員会事務局教職員課 http://www.pref.tochigi.lg.jp/kensei/saiyou/kyoushokuin/index.html	〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20	028-623-3386 / 3396
10 群馬県	群馬県教育委員会事務局学校人事課 http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00001375.html	〒371-8570 前橋市大手町1-1-1	027-226-4594
11 埼玉県	埼玉県教育委員会教育局小中学校人事課 http://www.pref.saitama.lg.jp/site/h24kyoinsaiyo/	〒330-9301 さいたま市浦和区3-15-1	048-830-6937
12 千葉県	千葉県教育庁教育振興部教職員課任用室 http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku-bunka/kyouiku/kyoushokuin/saiyou/	〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1	043-223-4043
13 東京都	東京都教育庁人事部選考課 http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/p_gakko/senko.htm	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1	03-5320-6787
14 神奈川県	神奈川県教育委員会教育局教職員部小中学校人事課 http://www.pref.kanagawa.jp/div/4024/	〒231-8509 横浜市中区日本大通33	045-210-8190
15 新潟県	新潟県教育庁義務教育課／高等学校教育課 http://www.pref.niigata.lg.jp/shokuin.html	〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1	025-280-5601 / 5609
16 富山県	富山県教育委員会教職員課 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3001/	〒930-8501 富山市新総曲輪1-7	076-444-3439
17 石川県	石川県教育委員会事務局教職員課 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/kyousyoku/kyousaikekka21.html	〒920-8575 金沢市鞍月1-1	076-225-1822
18 福井県	福井県教育庁学校教育振興課 http://www.pref.fukui.jp/manabi/education/cat2008/index.html	〒910-8580 福井市大手3-17-1	0776-20-0565
19 山梨県	山梨県教育庁義務教育課 http://www.pref.yamanashi.jp/gimukyo/181_004.html	〒400-8504 甲府市丸の内1-6-1	055-223-1755
20 長野県	長野県教育委員会事務局義務教育課／高校教育課 http://www.pref.nagano.jp/kenkyoi/jouhou/gakkou/saiyou.htm	〒380-8570 長野市南長野幅下692-2	026-235-7426 / 7430
21 岐阜県	岐阜県教育委員会事務局教職員課 http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei-unei/syokuin/kyoinsaiyo/	〒500-8571 岐阜市葦田南2-1-1	058-272-8740 / 8741
22 静岡県	静岡県教育委員会事務局学校人事課 http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-060/saiyo/syokuin-saiyou.html	〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6	054-221-3105
23 愛知県	愛知県教育委員会教職員課 http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/kyosyokuin/index.html	〒460-8534 名古屋市中区三の丸3-1-2	052-954-6769 / 6770
24 三重県	三重県教育委員会事務局人材政策室 http://www.pref.mie.lg.jp/KYOJIN/hp/	〒514-8570 津市広明町13	059-224-2959
25 滋賀県	滋賀県教育委員会事務局教職員課 http://www.pref.shiga.jp/edu/info/index.html	〒520-8577 大津市京町4-1-1	077-528-4534
26 京都府	京都府教育庁管理部教職員課 http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoshoku/cms/	〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町	075-414-5799
27 大阪府	大阪府教育委員会事務局教職員室教職員人事課 http://www.pref.osaka.jp/kyoshokuin/kyosai/index.html	〒540-0008 大阪市中央区大手前3-2-12	06-6944-6895

都道府県名	問い合わせ先	所在地	TEL
28 兵庫県	兵庫県教育委員会事務局教職員課	〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1	078-362-3749
	http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/saiyo.html		
29 奈良県	奈良県教育委員会事務局教職員課	〒630-8502 奈良市登大路町30	0742-27-9844/9846
	http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1695.htm		
30 和歌山県	和歌山県教育庁学校教育局学校人事課	〒640-8585 和歌山市小松原通1-1	073-441-3650
	http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500800/saiyou/top.html		
31 鳥取県	鳥取県教育委員会事務局小中学校課/高等学校課	〒680-8570 鳥取市東町1-271	0857-26-7513/7539
	http://www.pref.tottori.lg.jp/dd_aspx?menuid=115968		
32 島根県	島根県教育庁義務教育課/高校教育課	〒690-8502 松江市殿町1	0852-22-5422/5411
	http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/syokuin/saiyou/saiyou_info_tchr/		
33 岡山県	岡山県教育庁教職員課	〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7581/7582
	http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=145		
34 広島県	広島県教育委員会事務局管理部教職員課	〒730-8514 広島市中区基町9-42	082-513-4924/4922
	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/saiyou.htm		
35 山口県	山口県教育庁教職員課	〒753-8501 山口市滝町1-1	083-933-4550
	http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/		
36 徳島県	徳島県教育委員会教職員課	〒770-8570 徳島市万代町1-1	088-621-3129/3130
	http://www.pref.tokushima.jp/soshiki/kyousyokuinka/		
37 香川県	香川県教育委員会事務局義務教育課/高校教育課	〒760-8582 高松市天神前6-1	087-832-3743/3751
	http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/koko/saiyo/		
38 愛媛県	愛媛県教育委員会事務局指導部義務教育課/高校教育課	〒790-8570 松山市一番町4-4-2	089-912-2942/2952
	http://www.pref.ehime.jp/category_index47.html		
39 高知県	高知県教育委員会事務局教育政策課	〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52	088-821-4568
	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/		
40 福岡県	福岡県教育庁教育企画部教職員課	〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7	092-643-3892/3893
	http://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/list.html?id=58&d_s=0&s_s=0#195		
41 佐賀県	佐賀県教育庁教職員課	〒840-8570 佐賀市城内1-1-59	0952-25-7226
	http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/_1157.html		
42 長崎県	長崎県教育庁義務教育課/高校教育課	〒850-8570 長崎市江戸町2-13	095-894-3378/3358
	http://www.pref.nagasaki.jp/edu/faculty.php		
43 熊本県	熊本県教育庁学校人事課	〒862-8609 熊本市水前寺6-18-1	096-333-2692
	http://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouinsaiyou/		
44 大分県	大分県教育庁教育人事課	〒870-8503 大分足府内町3-10-1	097-506-5518
	http://kyouiku.oita-ed.jp/list-top-saiyou.html		
45 宮崎県	宮崎県教育委員会事務局教職員課	〒880-8502 宮崎市橘通東1-9-10	0985-26-7240
	http://www.pref.miyazaki.lg.jp/index/category/03_education.html		
46 鹿児島県	鹿児島県教育庁教職員課	〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-5270/5267
	http://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/saiyo/index.html		
47 沖縄県	沖縄県教育庁義務教育課	〒900-8571 那覇市泉崎1-2-2	098-866-2741
	http://www-edu.pref.okinawa.jp/#bosyu		

都道府県私学協会一覧

日本私立中学高等学校連合会傘下の47都道府県私学協会のリストです。各協会に私立中学校・高等学校(一部、小学校を含む)が加盟しています。

地区	都道府県	団体名 (協会ホームページへリンク)	〒	所在地	電話	
北海道	北海道	北海道私立中学高等学校協会	060-0001	札幌市中央区北一条西6 札幌ガーデンパレス5階	011(241)6651	
東北	青森	青森県私立中学高等学校長協会	030-0861	青森市長島2-10-4 ヤマウビル8階	017(735)3524	
	岩手	(一社)岩手県私学協会	020-0024	盛岡市菜園1-3-6 農林会館6階	019(626)7627	
	宮城	宮城県私立中学高等学校連合会	983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-1-5 仙台ガーデンパレス3階	022(299)7117	
	秋田	秋田県私立中学高等学校協会	010-8533	秋田市南通みその町4-8-2 秋田聖霊女子短期大学付属中学校高等学校内	018(833)7311	
	山形	山形県私立中学高等学校協会	990-0023	山形市松波4-6-11 山形県私学会館内	023(641)2323	
	福島	福島県私立中学高等学校協会	960-8103	福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階	024(522)3252	
	新潟	新潟県私立中学高等学校協会	950-0965	新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ-803	025(250)6377	
関東	茨城	茨城県私学協会	310-0911	水戸市見和1-356-2 茨城県水戸生涯学習センター分館内	029(226)1224	
	栃木	栃木県私立中学高等学校連合会	320-8525	宇都宮市一の沢1-1-41 作新学院高等学校内	028(648)1811	
	群馬	群馬県私立小・中・高等学校協会	371-0854	前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル6階 私学センター内	027(255)6871	
	埼玉	(一社)埼玉県私立中学高等学校協会	330-0063	さいたま市浦和区高砂4-13-20 埼玉私学教育研修会館内	048(863)2110	
	千葉	(一社)千葉県私立中学高等学校協会	260-0028	千葉市中央区新町18-10 千葉第一生命ビルディング8階	043(241)7382	
	神奈川	(一財)神奈川県私立中学高等学校協会	221-0833	横浜市神奈川区高島台7-5 神奈川県私学会館内	045(321)1901	
東京	東京	(一財)東京都私立中学高等学校協会	102-0073	千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階	03(3263)0541	
中部	富山	富山県私立中学高等学校協会	930-0096	富山市舟橋北町4-19 富山県森林水産会館内	076(433)0027	
	石川	石川県私立中学高等学校協会	920-0918	金沢市尾山町6-40 私学事業団「兼六荘」内	076(222)9920	
	福井	福井県私立中学高等学校協会	910-0003	福井市松本3-16-10 福井合同庁舎5階	0776(27)3080	
	山梨	山梨県私立中学高等学校連合会	400-0031	甲府市丸の内2-14-13 タイタビル6階	055(232)4422	
	長野	長野県私立中学高等学校協会	380-8570	長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内	026(235)3353	
	岐阜	岐阜県私立中学高等学校協会	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館内	058(277)1141	
	静岡	静岡県私学協会	420-0853	静岡市葵区追手町9-26 静岡県私学会館1階	054(254)8208	
	愛知	愛知県私学協会	460-0003	名古屋市中区錦3-11-13 名古屋ガーデンパレス4階	052(957)1390	
	三重	三重県私学協会	514-0008	津市上浜町1-293-4 三重県私学青少年会館内	059(225)5171	
	近畿	滋賀	滋賀県私立中学高等学校連合会	520-0043	大津市中央3-1-8 大津第一生命ビルディング2階	077(527)5366
		京都	京都府私立中学高等学校連合会	600-8424	京都市下京区室町通高辻上ル山王町561 京都私学会館内	075(344)0385
大阪		大阪私立中学校高等学校連合会	534-0026	大阪市都島区綱島町6-20 大阪私学会館内	06(6352)4761	
兵庫		兵庫県私立中学高等学校連合会	650-0012	神戸市中央区北長狭通4-3-13 兵庫県私学会館内	078(331)6621	
奈良		奈良県私立中学高等学校連合会	630-8253	奈良市内侍原町6 奈良県林業会館内	0742(26)6309	
和歌山		和歌山県私立中学高等学校協会	640-0332	和歌山市冬野2066-1 智辯学園和歌山中学校高等学校内	073(479)2811	
中国	鳥取	(一社)鳥取県私立学校協会中学高等学校部会	680-0055	鳥取市戎町505-1 鳥取県私学会館内	0857(29)4266	
	島根	島根県私立中学高等学校連盟	690-0001	松江市東朝日町112	0852(23)5548	
	岡山	岡山県私学協会	700-0818	岡山県岡山市北区蕃山町1-20 岡山県開発公社ビル5階	086(224)7481	
	広島	広島県私立中学高等学校協会	730-0051	広島市中区大手町4-5-7 広島県私学会館内	082(241)2805	
	山口	山口県私立中学高等学校協会	753-0088	山口市中河原町2-14 山口県私学会館内	083(922)5256	
四国	徳島	徳島県私立中学高等学校連合会	770-8560	徳島市寺島本町東1-8 学校法人村崎学園内	088(622)0097	
	香川	香川県私立中学高等学校連合会	760-0006	高松市亀岡町1-10 学校法人香川県明善学園内	087(834)7967	
	愛媛	愛媛県私立中学高等学校連合会	790-8545	松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内	089(913)0650	
	高知	高知県私立中学高等学校連合会	780-0861	高知市升形9-50 フタバハイフラット1階	088(825)3363	
九州	福岡	福岡県私学協会	810-0001	福岡市中央区天神4-8-15 福岡ガーデンパレス内	092(713)7281	
	佐賀	佐賀県私立中学高等学校協会	840-0054	佐賀市水ヶ江3-1-25 龍谷中学校高等学校内	0952(37)9181	
	長崎	長崎県私立中学高等学校協会	850-0033	長崎市万才町6-35 大樹生命長崎ビル3階	095(821)0211	
	熊本	熊本県私立中学高等学校協会	862-0976	熊本市中央区九品寺2-2-51 大山ビル	096(372)5221	
	大分	大分県私立中学高等学校協会	870-0022	大分市大手町1-1-13	097(536)3709	
	宮崎	宮崎県私立中学高等学校協会	880-0867	宮崎市瀬頭2-5-2 スカイライト301	0985(29)5288	
	鹿児島	鹿児島県私立中学高等学校協会	890-0062	鹿児島市与次郎2-6-6-201号 アプローズ県庁前老番館	099(812)8778	
	沖縄	沖縄県私立中学高等学校協会	901-2112	浦添市沢岬450 昭和薬科大学附属中学校高等学校内	098(870)1852	